



近畿大学校友会報

第 40 号
10月24日 (日)
2004年(平成16年)



(写真)

- ① 2004年春 完成した10階建新校舎(東大阪)
- ② 近畿大学工業高等専門学校新校舎(熊野)

目 次

校友会定期総会ご案内	2頁
校友会役員紹介	2頁
校友会月別事業経過概要報告	3～6頁
校友会一般会計決算・予算書	7～8頁
恩師からのお手紙	
「風斜めに」世耕 弘昭 近畿大学理事長・校友会名誉会長	9頁
「近 況」畑 博行 近畿大学学長	10～11頁
ごあいさつ 校友会長 亀岡 弘	11頁
各種委員会 委員長から	11～12頁
支部だより	12～16頁
ご寄稿	16～28頁
学園近況	28～31頁
就職部から校友の皆様へ 就職部長 北爪佐知子	32頁
各地区新卒業生歓迎会開催 ご案内	33頁
学生戦績	34～42頁
厚生委員会情報(フィットネスクラブ「タック桃山」)	43頁
校友会長賞授与者一覧	43頁
校友を訪ねて	43～44頁
有志の名刺一覧	44～47頁
個人情報について	48頁

●平成16年度プログラム●

第1部 定期総会

場 所 11月ホール

受 付 11時から

開 始 正午

校歌斉唱

黙とう

①開会の辞

②校友会長挨拶

③来賓祝辞

④表彰状・感謝状授与

第2部 懇親会

開 始 午後1時

①執行部代表挨拶

②乾杯(懇親)

③新支部・校友紹介

④抽選会 ⑤近大節

⑥閉会の辞

散 会 午後3時予定

校友会総会

ようこそ懐かしい人々

十月二十四日(日)

校友会役員紹介

校友会の役員の皆様は、次のとおりです。(敬称略)

【名誉会長】

世 耕 弘 昭 (せこう・ひろあき)
学校法人近畿大学理事長

【会長】

亀 岡 弘 (かめおか・ひろむ)
大阪理科大学応用化学科昭和27年卒

【副会長】

近 藤 勲 (こんどう・いさお)
第一部法学部法律学科昭和35年卒
森 本 佳 明 (もりもと・よしあき)
薬学部薬学科昭和37年卒
志 田 裕 顯 (まつだ・ひろあき)
第一部商経学部商学科昭和42年卒
大学院商学研究科修士課程昭和44修
大学院商学研究科修士課程昭和46修
南 野 隆 雄 (みなみの・たかお)
第二部商経学部経営学科昭和42年卒
本 長 得 平 (ほんちょう・とくへい)
短期大学部通信教育部商経科昭和53年卒

【幹事長】

山 口 英 治 (やまぐち・えいじ)
第一部法学部法律学科昭和47年卒

【副幹事長】

佐々木 敏 文 (ささき・としふみ)
農学部農芸化学科昭和45年卒
丸 山 次 郎 (まるやま・じろう)
医学部医学科昭和55年卒
大学院医学研究科博士課程昭和61年修

【会計】

三 宅 義 雅 (みやけ・よしまさ)
農学部農芸化学科昭和40年卒
山 本 正 彦 (やまもと・まさひこ)
第一部商経学部経営学科昭和43年卒
嶋 西 洋 治 (しまにし・ようじ)
第一部商経学部商学科昭和45年卒

【会計監事】

山 本 隆 (やまもと・たかし)
第二部理工学部機械工学科昭和41年卒
谷 本 富 (たにもと・とめる)
第一部理工学部建築学科昭和42年卒
高 林 弘 治 (たかばやし・ひろはる)
第一部商経学部商学科昭和44年卒
植 屋 亨 (うえや・とおる)
九州工学部建築学科昭和51年卒
巴 山 康 夫 (はやま・やすお)
第一部商経学部経営学科昭和55年卒

平成15年度 月別事業経過概要

月 別	議案号数	概 要
4 月	会 議	(1) 4 月 11日(金) 執行部会議 (2) 4 月 11日(金) 会計監査 (3) 4 月 18日(金) 執行部会議 (4) 4 月 18日(金) 顧問・相談役・参与会議 (5) 4 月 30日(水) 執行部会議 (6) 4 月 30日(水) 常任幹事会議
	2号	(1) 4 月 19日(土) 神戸支部総会 「楠公会館 新館大ホール」 (2) 4 月 19日(土) 岸和田支部総会 「長栄会館」 (3) 4 月 27日(日) 愛媛県支部総会 「ケーオーホテル」
	3号	校友名簿の補正
	9号	(1) 4 月 7日(月) 本部入学式
5 月	会 議	(1) 5 月 16日(金) 執行部会議 (2) 5 月 16日(金) 幹事会議
	1号	(1) 5 月 24日(土) 広島県東部ブロック総会
	2号	(1) 5 月 5日(月) 大阪狭山支部総会 「かんぽの宿 赤穂」 (2) 5 月 17日(土) 新宮東牟婁支部総会 「かわる」 (3) 5 月 21日(水) 河内長野市役所ながの会支部総会 「茶花の里」 (4) 5 月 23日(金) 大阪府内特定行政庁OB会支部設立総会「パノラマビュレストラン アサヒ」 (5) 5 月 30日(金) 羽曳野市役所支部総会 「びっくじょう」
	3号	校友名簿の補正
	4号	校友会終身会費の徴収
6 月	会 議	(1) 6 月 6日(金) 関東地区新卒業生歓迎会役員会 (2) 6 月 18日(水) 執行部会議 (3) 6 月 20日(金) 中部地区新卒業生歓迎会役員会 (4) 6 月 27日(金) 中国四国地区新卒業生歓迎会役員会
	1号	(1) 6 月 4日(水) 総会実行委員会 (2) 6 月 18日(水) 総会実行委員会
	2号	(1) 6 月 13日(金) 八尾支部総会 「加門」 (2) 6 月 14日(土) 徳島県支部総会 「徳島ワシントンホテルプラザ」 (3) 6 月 15日(日) 岡山県東備支部総会 「寿し割烹 みやけ」 (4) 6 月 21日(土) 広島県呉支部総会 「呉阪急ホテル」 (5) 6 月 21日(土) 造園緑化支部総会 「薬師温泉 庄永閣」 (6) 6 月 21日(土) 通信教育部同窓会総会 「11月ホール 小ホール」 (7) 6 月 22日(日) 河内長野支部総会 「茶花の里」 (8) 6 月 22日(日) 岐阜県支部総会 「グランパレホテル」 (9) 6 月 22日(日) 富山県支部総会 「富山電気ビル」 (10) 6 月 28日(土) 九州工学部同窓会総会 「福岡ガーデンパレス」 (11) 6 月 28日(土) 理工学部同窓会総会 「都ホテル大阪」 (12) 6 月 29日(日) 東大阪支部総会 「Uコミュニティホール」
	3号	校友名簿の補正
	4号	校友会終身会費の徴収

月 別	議案号数	概 要
6 月	6号 9号	(1) 6 月 25日(水) 広報出版委員会 (1) 6 月 1日(日) 薬学部創立50周年記念式典祝賀会
7 月	会 議 1号 2号 3号 4号 7号	(1) 7 月 11日(金) 九州地区新卒業生歓迎会役員会 (2) 7 月 23日(水) 執行部会議 (3) 7 月 25日(金) 中部地区新卒業生歓迎会役員会 (1) 7 月 9日(水) 総会実行委員会 (2) 7 月 16日(水) 総会実行委員会 (1) 7 月 1日(火) 近大クラブ(高・中校の部)支部総会 「都ホテル大阪」 (2) 7 月 2日(水) 尼崎市役所支部総会 「総合文化センター」 (3) 7 月 5日(土) 高知県支部総会 「高知新阪急ホテル」 (4) 7 月 6日(日) 北九州支部総会 「ラ・プラージュ北九州国際会議場」 (5) 7 月 13日(土) 広島芸南支部総会 「グリーンピア安浦」 (6) 7 月 13日(土) 淡路島支部総会 「ウェスティンホテル淡路」 (7) 7 月 25日(金) 近畿地方整備局支部総会 「大阪弥生会館」 (8) 7 月 27日(日) 富田林市支部総会 「富田林市市民会館」 校友名簿の補正 校友会終身会費の徴収 (1) 7 月 17日(木) 植田道雄氏勲四等瑞宝章祝賀会
8 月	会 議 2号 3号 7号	(1) 8 月 30日(土) 執行部会議 (1) 8 月 1日(金) 朝日工業社支部総会 「朝日工業社大阪支社」 (2) 8 月 8日(金) 奥村土木支部総会 「中国料理 萬集楼」 (3) 8 月 9日(土) 岡山県梅師会支部総会 「雅城閣」 (4) 8 月 17日(日) 韓国支部総会 「ソウルヨイド」 (5) 8 月 22日(金) 関東地区新校友歓迎会 「東京ルビーホール」 (6) 8 月 24日(日) 大分県支部総会 「大分東洋ホテル」 (7) 8 月 30日(土) 全国支部長・同窓会長会 「ホテルアウィーナ大阪」 (8) 8 月 30日(土) 熊本県支部総会 「ホテルキャッスル」 校友名簿の補正 (1) 8 月 2日(土) 秋山成勲選手を励ます会
9 月	会 議 1号 2号	(1) 9 月 19日(金) 九州地区新卒業生歓迎会役員会 (2) 9 月 30日(土) 執行部会議 (1) 9 月 25日(木) 総会実行委員会 (1) 9 月 5日(金) 大阪府庁支部総会 「プリムローズ大阪」 (2) 9 月 12日(金) 奈良県庁支部総会 「春日野荘」 (3) 9 月 14日(日) 香芝支部10周年記念総会 「ふたかみ文化センター 市民ホール」 (4) 9 月 18日(木) 東京支部総会 「主婦会館プラザエフ」 (5) 9 月 20日(土) 福井県支部総会 「キョーサー ユニバーサルホール」 (6) 9 月 27日(土) 静岡県支部総会 「呉竹荘」 (7) 9 月 27日(土) 関西私大支部総会 「ホテル南海なんば」 (8) 9 月 27日(土) 大阪市港支部総会 「居酒屋 清正」 (9) 9 月 27日(土) 堺市役所支部総会 「別府温泉 ホテル白菊」

月 別	議案号数	概 要
9 月	3号 4号	校友名簿の補正 校友会終身会費の徴収
10 月	会 議 1号 2号 3号	(1) 10月 19日(日) 執行部会議 (1) 10月 8日(水) 総会実行委員・厚生委員・事業準備委員・推進委員合同委員会 (2) 10月 19日(日) 平成15年度定期総会 (1) 10月 3日(金) 大阪市阿倍野支部総会 「桃谷楼」 (2) 10月 4日(土) 石川県支部総会 「金沢スカイホテル」 (3) 10月 5日(日) 高槻・島本支部総会 「つきの井」 (4) 10月 10日(金) 中国四国地区新校友歓迎会 「ホテルグランヴィア広島」 (5) 10月 10日(金) 関西テック支部総会 「しづ」 (6) 10月 11日(土) 工学部同窓会総会 「ホテルグランヴィア広島」 (7) 10月 17日(金) 日経サービス支部総会 「つば八 心斎橋店」 (8) 10月 19日(日) 東大阪市合同職域支部総会 「近畿大学記念会館」 (9) 10月 19日(日) 尾道支部総会 「近畿大学記念会館」 (10) 10月 24日(金) 農林水産省支部総会 「ホテルアウリーナ大阪」 校友名簿の補正
11 月	会 議 1号 2号 3号 5号	(1) 11月 19日(水) 執行部会議 (1) 11月 7日(金) 総会実行委員会 (1) 11月 1日(土) 生物理工学部同窓会総会 「生物理工学部キャンパス」 (2) 11月 3日(月) 農学部同窓会総会 「農学部キャンパス」 (3) 11月 8日(土) 医学部同窓会総会 「医学部キャンパス」 (4) 11月 14日(金) 九州地区新校友歓迎会 「ソラリア西鉄ホテル」 (5) 11月 14日(金) 松原市役所支部総会 「天王寺都ホテル」 (6) 11月 16日(日) 愛知県支部総会 「百楽」 (7) 11月 21日(金) 鹿児島県支部総会 「アクアガーデンホテル福丸」 (8) 11月 28日(金) 住友電設支部総会 「銅羅」 (9) 11月 29日(土) 和歌山県紀南支部総会 「銀しろ」 校友名簿の補正 (1) 11月 15日(土) 会則審議委員会
12 月	会 議 2号 3号 7号	(1) 12月 3日(水) 執行部会議 (2) 12月 3日(水) 臨時常任幹事会議 (3) 12月 6日(土) 執行部会議 (4) 12月 6日(土) 臨時幹事会議 (5) 12月 19日(金) 執行部会議 (1) 12月 5日(金) 中部地区新校友歓迎会 「名古屋ガーデンパレス」 (2) 12月 18日(木) 寝屋川支部総会 「かにっ子」 (3) 12月 29日(月) 台湾支部総会 「昌華ホテル」 校友名簿の補正 (1) 12月 21日(土) 金晒黙韓国支部長ソウル慶熙大学総長就任祝賀会

月 別	議案号数	概 要
1 月	会 議 2号	(1) 1 月 16日(金) 執行部会議 (1) 1 月 23日(金) 大阪国税局支部総会 「和心」 (2) 1 月 27日(火) 大東市役所支部総会 「民芸肉料理 はや山荘」 (3) 1 月 30日(金) 大阪市小若江会支部総会 「天王寺東映ホテル」 (4) 1 月 30日(金) 中華民国在日支部総会 「北京料理 神仙閣」 (5) 1 月 31日(土) 大阪市生野支部総会 「たちばな 道頓堀本店」
	3号	校友名簿の補正
2 月	会 議 2号	(1) 2 月 18日(水) 執行部会議 (1) 2 月 18日(水) 八尾市役所支部総会 「ホテル一栄」 (2) 2 月 7日(土) 川西・猪名川支部再結成総会 「アステホテル」 (3) 2 月 7日(土) 高槻市役所支部総会 「ホテルニューアワジ」 (4) 2 月 14日(土) 滋賀県庁支部総会 「ホテルボストンプラザ草津」 (5) 2 月 14日(土) 東大阪市役所支部総会 「高知 城西館」 (6) 2 月 15日(日) 泉佐野支部総会 「ホテルラマダ関西空港」 (7) 2 月 20日(金) 寝屋川市役所支部総会 「かにっ子」 (8) 2 月 21日(土) 姫路支部総会 「総社会館」 (9) 2 月 25日(水) 川西市役所支部設立総会 「音羽茶屋 池田総本店」 (10) 2 月 28日(土) 赤穂支部総会 「西鳥屋」
	3号	校友名簿の補正
	7号	(1) 2 月 15日(日) 近畿大学体育会相撲部祝勝会 (2) 2 月 28日(土) 近畿大学体育会空手道部祝勝会
	9号	(1) 2 月 26日(木) 附属看護専門学校卒業式
3 月	会 議 2号	(1) 3 月 13日(土) 執行部会議 (1) 3 月 6日(土) 堺支部総会 「シティホテルサンブラザ」 (2) 3 月 6日(土) 造園緑化支部総会 「ホテルホップインアミング」 (3) 3 月 23日(火) 守口市役所支部総会 「がんこ寿司 古川橋店」 (4) 3 月 25日(木) 河内長野市役所ながの会支部総会 「河内長野荘」
	3号	校友名簿の補正
	8号	校友会会長賞授与
	9号	(1) 3 月 5日(金) 豊岡短期大学卒業式 (2) 3 月 5日(金) 工業高等専門学校卒業式 (3) 3 月 6日(土) 九州短期大学卒業式 (4) 3 月 11日(木) 工学部卒業式 (5) 3 月 12日(金) 九州工学部卒業式 (6) 3 月 17日(水) 生物理工学部卒業式 (7) 3 月 19日(金) 本部卒業式 (8) 3 月 22日(月) 大学院学位記授与式

一 般 会 計

平成15年度(自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)歳入歳出決算書

1. 歳入の部	100,345,310
1. 歳出の部	42,490,137
1. 次年度繰越金	57,855,173

歳入の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
前年度繰越金	47,718,995	47,718,995	0	定期預金を除く
会費収入	50,000,000	42,160,000	7,840,000	銀行振込1,313人・郵便局2,903人
特別会計より繰入	10,000,000	10,000,000	0	
事業(カード)	300,000	171,115	128,885	校友会カード
雑収入	500,000	295,200	204,800	銀行預金利息・グッズ売上金等
合 計	108,518,995	100,345,310	8,173,685	

歳出の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
会 議 費	6,000,000	4,774,364	1,225,636	常任幹事会議・幹事会議・各種委員会等
通 信 費	5,000,000	4,986,904	13,096	各種会議及び各種委員会通知・電話料等
印 刷 費	5,000,000	2,277,056	2,722,944	各種印刷費等
広 報 費	5,000,000	0	5,000,000	定期総会宣伝費等
人 件 費	16,000,000	10,264,954	5,735,046	給料・手当・アルバイト料等
助 成 金	16,000,000	7,863,432	8,136,568	総会助成金等
備 品 費	1,000,000	174,069	825,931	デジカメ等
消 耗 品 費	1,000,000	180,441	819,559	事務消耗品費等
支部・同窓会費	15,000,000	4,681,340	10,318,660	支部祝金及び支部懇親会費等
出張 費	4,000,000	3,697,584	302,416	支部総会出張旅費等
会費振込手数料	300,000	210,060	89,940	振込手数料 銀行¥2,500・郵便局¥207,560
雑 費	3,000,000	1,310,334	1,689,666	校友会本部維持費及び慶弔費等
予 備 費	1,536,711	398,484	1,138,227	
小 計	78,836,711	40,819,022	38,017,689	
各種事業準備積立金	0	0	0	
退職手当積立金	500,000	500,000	0	
事業(カード)	300,000	171,115	128,885	特別会計へ振替
名簿作成準備金	28,882,284	1,000,000	27,882,284	薬学部創立50周年記念名簿作成援助
合 計	108,518,995	42,490,137	66,028,858	

一 般 会 計

平成16年度(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)歳入歳出予算書

歳入の部 (単位 円)

科 目	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	57,855,173	
会 費 収 入	45,000,000	会費納入予定者 4,500人
事 業 (カ ー ド)	200,000	
雑 収 入	300,000	銀行預金利息・グッズ・広告代等
合 計	103,355,173	

歳出の部 (単位 円)

科 目	予 算 額	摘 要
会 議 費	7,000,000	常任幹事会議・幹事会議・各種委員会等
通 信 費	7,000,000	各種会議・各種委員会通知・電話料・FAX使用料・終身会費等
印 刷 費	5,000,000	各種印刷費等
広 報 費	5,000,000	定期総会宣伝費等
人 件 費	13,000,000	給料・手当・アルバイト料等
助 成 金	13,000,000	総会・各クラブ祝勝金等
備 品 費	1,000,000	
消 耗 品 費	1,000,000	事務消耗品費等
支 部・同 窓 会 費	13,000,000	支部祝金及び支部懇談会費等
出 張 費	5,000,000	支部総会出張旅費等
会 費 振 込 手 数 料	300,000	振込手数料
雑 費	2,000,000	校友会本部維持費及び慶弔費等
予 備 費	2,472,889	
小 計	74,772,889	
退職手当積立金	500,000	
事 業 (カ ー ド)	200,000	平成16年度分繰入金
名簿作成準備金	27,882,284	
合 計	103,355,173	

「風斜めに」

近畿大学理事長
校友会名誉会長

世 耕 弘 昭

風斜めに雨急なところは 脚を立てえて定めんことを要す
花濃やかに 柳艶なところは 眼を着けえて高らんことを要す
路 危く 径 険しきところは 頭を回らしえて早からんことを要す

《風雨が激しく吹きつけるときは、脚を大地にしっかりと踏みつけて立つがよく、
花や柳が美しいところは目を高くつけて、それに心を奪われないようにし、
路が狭くて危険と知ったら早く引き返さなければならぬ。》

これは、『菜根譚』の一節である。わかっているようで、人間は実行できない。
しかし、この変転の社会ではこんな単純なことでも心に定めて生きてゆかねばならないのではなからうか。

近況

近畿大学学長

畑 博 行

本年四月に学長を拝命したばかりの畑です。まず、校友会の皆さまに對し、心よりのご挨拶をお送りします。小生が法学部教授（憲法）として近畿大学に着任したのは平成四年（一九九二）の四月ですので、勤務歴はまだ十二年余りしかなく、その間法学部長を二期六年、教養部に代わって設置された全学共通教育機構の機構長を二年勤めたとは言え、まだまだ近大では新参者です。その小生がこのような重職を仰せつかり、大へん光榮に存すると同時に、責任の重さを痛感しています。非力ながら近畿大学の発展のため頑張る所存ですので、どうぞ宜しくお願い致します。

大企業を中心に景気が回復に向かっていると言われていますが、わが国の経済は長年に亘るデフレ不況から未だ脱出したとは言えない状態にあります。そのため、保護者の失職、倒産など経済的理由で退学する学生の数も少なくありません。そのうえ、近年の少子化の影響で大学受験生の数は減る一方です。二〇〇七年にはわが国の大学の定員の総数と受験生の総数が同じになると言われています。そうになると、定員を充たせず、破綻に追い込まれる大学も確実に増えることでしょう。そ

のため、今後大学間の競争が益々激化することは必至です。

このような状況の中で、近畿大学も、建学の精神である「未来を志向した実学教育」をモットーに、全学をあげてそのイメージアップに努めています。今後、大学が生き残っていくためには、セールスポイントとなる魅力ある特色を備えていかなければなりません。それに、何よりも活力のある元氣な大学であることが求められます。

幸い、校友の皆さまもご承知のように、近畿大学は色々な面で世間の注目を引く目覚ましい活躍をしています。その顕著な例の一つは、卒業生を含めてアーチェリー五人、水泳四人と、台湾代表の野球で一人の計十選手がアテネオリンピックに出場し、大活躍をしたことです。卒業生を含めてとは言え、一大学から十人ものオリンピック選手を送り出すというのは素晴らしいことです。

もう一つの例は、これまた皆さまご存知のように、文部科学省の「二十一世紀COEプログラム」に二年連続選定されたことです。「COE」とは「卓越した研究拠点」の略語で、世界的な研究業績をあげたか、あるいはあげる可能性の高い研究グループで、世界の重要な研究拠点となり得るものをCOEとして選び、それに研究費を重点的に配分し、わが国の研究レベルを世界的にしよとするものです。このCOEに二年連続選定されたのは、私立大学では近大を含めわずか五大学で

す。最初の（すなわち二〇〇二年度の）COEに選定されたのは、大学院生物理工学研究科と先端技術総合研究所による生命科学分野の研究拠点で、ホウレン草の遺伝子を豚に注入し、肉質のよい豚を作出するというものです。植物の遺伝子を大型動物に組み込むという試みの成功は世界で初めてです。

続く二〇〇三年度のCOE選定は、大学院農学研究科と水産研究所による魚類養殖の研究拠点で、絶滅が危惧されているクロマグロの完全養殖に世界で初めて成功したものです。

近大のイメージアップに貢献する近大の教員による優れた研究は、それらのみではありません。例えば、クロイン牛の誕生、一秒間に一〇〇万枚撮影できる超高速カメラの開発、量子計算機の開発、人間の自然の治癒力を生かした人にやさしい医療の研究などです。これらもCOE選定の研究に匹敵する優れた研究業績です。

さて、大学を取り巻く環境は時々刻々変化しています。とりわけ、科学技術は日進月歩と言っても過言ではありません。大学の研究教育体制も当然それに対応していかなければなりません。近大でも理系の学部は、二十世紀の学問と言われている遺伝子工学、生物工学、生命科学などの分野での研究教育体制を整えるため懸命の努力をして参りました。

具体的には、平成五年に遺伝子工学科、生物工学科をもつ生物理工学部を設置し、また平成十年に九州工学部

（現在の産業理工学部）に生物環境化学科、続いて十四年には理工学部生命科学科、また東広島工学部にも生物化学工学科を設置しました。農学部でも、来年から応用生命化学科とバイオサイエンス学科を発足させることが決っています。

勿論、文系の分野でも、社会の要請と新しい学問の動向に対応するため、学部、学科の再編に取り組んでいます。まず、昨年度より、近大で最も古い学部であった商経学部を経済学部と経営学部に分離しました。新しい経済学部には、総合経済政策学科が設けられています。また、法学部でも従来の経営法学科を政策法学科に改組しました。

このほか、近大にとって、文科系の強化も重要課題の一つであり、その動きの一環として、IT（情報技術）教育を推進するため、Eキャンパスの一角に立派な機器、設備を備えた情報処理教育棟を建設しています。

また、こんにち、日本でも専門職大学院の必要性が叫ばれています。まず、その先駆けとして本年四月より、近畿大学も、法曹教育を担う法科大学院を設置しました。また、第二弾として、会計学の専門職大学院を作るための構想を打ち出しています。なお、本学法科大学院は新しく設けられた二〇〇四年度「法科大学院等専門職大学院形成支援プログラム」に選ばれました。

この四月、国立大学が一斉に法人化しました。これが大学間競争を一層激化させることは明らかです。国公立大

学も、危機感を強め、受験生確保は勿論のこと、地域社会の協力の確保、同窓会の強化などその対応策に躍起となっています。われわれ近大教職員も、学生と一体となって、この競争に打ち克つため一層努力をしますので、同窓の皆さまにおかせられてもどうぞご支援を下さるようお願い致します。

最後になりましたが、校友会の益々のご発展と会員の皆さまのご健勝を祈念しつつ欄筆します。

校友の輪を広めよう

校友会会長

亀岡 弘

平成十六年度校友会総会を開催するにあたり、ご来賓として母校から畑博行学長をはじめ多くの先生方のご臨席を賜り、校友を代表して厚くお礼申し上げます。

校友会の今日あるのは、平素から母校の理事長であり校友会名誉会長世耕弘昭氏の温かいご理解と大学当局の変わらぬご支援、そして校友諸先輩のご協力によるものでありまして、深く感謝の意を表するものであります。

私たち母校の日々発展していますことは、マスコミその他でご認識されていること存じますが、本年四月から法科大学院が開設され、さらには二十

一世紀 COE プログラムも二年連続で選定されました。母校は、学問の専門性を高めると同時に、時代を先取りした力強い歩みを着実に続けています。

元近畿大学総長・前校友会会長世耕政隆先生の七回忌を迎え、偲ぶ会が本年九月に終えました。私は、偉大なる前会長のご遺志を少しでも発展前進させるよう諸先輩の皆様方のお知恵をお借りして努力してまいりましたが、早いもので、またたく間に五年が経ちました。校友会の発展は、支部の活性化と強化にあることを常に訴えてきまし

「各種委員会」 委員長から

総会実行委員会委員長

岩城 正大

校友会員の皆様におかれましてはますますご健勝にしてご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、今年も母校の発展と会員相互の親睦をはかる総会に卒業生、ご家族、また大学関係者多数が集まりいただき、私達総会実行委員一同大変喜んでおります。私達は毎年一回、卒業年度や地域を越えて懐かしい友が旧交をあたため、協議を重ねてまいりました。今後も皆様方のご期待に少しでもそ

た。多くの諸先輩が各所で素晴らしい活躍をされていますが、校友会の永続的發展を目指すならば、支部の活性化と強化に他ありません。会員の集まるところに発展があります。「数は力なり」と申しますが、校友とわかれれば声を掛けて下さい。声を掛けなければ誰も集まってきません。

「校友の輪を広めよう」

結びに母校のますますのご発展とご来賓の先生方、そして校友の皆様方のご活躍とご多幸をお祈りいたしまして総会のご挨拶とさせていただきます。

厚生委員会委員長

十合 良介

私達厚生委員会では、校友の母校愛と母校をつなぐ近畿大学校友会カードの拡大と一定の特典、割引等のサービスを、ご協力賜わるとご提供者を募っております。

近畿大学校友会カードは、VISA・JCB・MASTERCARD・NICOS と提携し、すでに諸先輩に御愛用願っております。デザインは学園章をモチーフに、校友会メンバー証としてふさわしいものであります。よって、一人でも多くの校友の皆様方の御加入をお待ち致しております。

事業準備委員会委員長

石田 定廣

校友会の運営は新卒の会費によって運営されているのが現状である。この委員会の使命は校友会として安定した収入の確保を得るための事業を行う企画を立案することにある。

そこで、委員会として本年から来年にかけて次の二つの柱を検討している。

(一) 校友会カード会員増による収入

(二) 校友会グッズの企画と販売による収入

そこで、校友会カード (JCB・VISA・MC など) を使用していただき、その歩合を校友会に還元する。そのためにカード会員としてのメリットを再考する。また、グッズは毎年総会の時に記念グッズとして作成し販売してきたが、今後は会員に満足してもらえるグッズを企画していくことにあります。会員諸兄のご意見を参考に委員会

次に、このカードを多くの方々にご利用賜わるために、旅館、ホテル、飲食店、観光地等の経営者、及び勤務されている諸先輩のご提供、ご協力願える方がおられましたら校友会事務局までご一報下されれば幸いです。どうぞ諸兄姉の一層のご協力の程よろしくお願い致します。

として活動していきたいと思っ
ているので、どうぞご協力をお願いしたい。

名簿作成委員会委員長

竹内 正彦

我が近畿大学校友会は、近々四十万人に達する大所帯であり、全国に地域支部が百六、職域支部が八十四支部も組織されております。その中で、永年名簿作成委員長としてお手伝いをしておりますが、来年には個人情報保護法の制定もあり、名簿の公開が制限されることとなりますが、校友会で有意義に使用されることを条件に名簿作成委員会を名簿管理委員会（私案）と改名して利用の許可を審査して決定する所存です。

本名簿の内容をより一層拡充を図る上で皆様からの積極的な情報をお待ちしております。最後に我が母校の発展と校友会会員の益々のご健勝を祈念致します。

会則審議委員会委員長

平川 孝之

此の度四月一日付で、委員長を拝命いたしました。まだまだ未熟者ですが、どうぞよろしくお願い致します。

当委員会は、校友会発足から今日迄、その時々において、諸先輩並びに各委員の皆様方が、真摯に検討され、会員

の皆様方に賛同を得て、現在に至るまで、次第です。

今後、母校の発展に寄与し、並びに会員相互の親睦を図る目的に添った会則等の審議検討に努めて行きたいと思っておりますので、皆様方のご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

推進委員会委員長

下村 留美

秋の気配も深まり、校友会総会の季節を迎えることとなりました。毎年たくさんの卒業生・ご家族にご出席いただき、私ども推進委員会委員一同とても喜んでおります。と、いいますのも、私達推進委員会では、総会の開催にあたり、各種委員会の皆様と協力し、総会をより楽しく、和やかな会とし、皆様の大切なひと時をサポートできるよう取り組んでいるからであります。

毎年、色々な催し等を行っておりますが、いかがでしょうか？皆様の中には、「総会でこんなことをしたい」とか、「こういうものを見たい」等のご希望はありませんでしょうか？ありましたら遠慮せず、校友会にご一報ください。来年の総会では皆様の名案が現実のものとなるかもしれません。ご年配の方から、若い方まで、皆様に参加していただき、楽しんでいただける総会を目指し、「今年の総会はやかったね。また来年が楽しみだ。」と思っ

ていただけるよう頑張っていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

支部だより

「八尾支部結成三十五周年記念総会並びに懇親会の御礼」

八尾支部長

田中 誠太

このたびの「近畿大学校友会平成十六年度定期総会」のご盛會、心よりお慶び申し上げます。また平素は八尾支部の活動に對しまして格別のご高配を賜り、その旨厚く御礼申し上げます。

さて本年は、当八尾支部結成三十五周年の節目の年であり、七月二日に八尾市文化会館（プリズムホール）において、記念総会並びに懇親会を開催させていただきました。当日は亀岡弘・校友会長、柴谷光謙・八尾市長にご祝辞を賜り、またこれまでの経過報告・会計報告・会則改正案・役員改選案の各議案審議の後、結成以来八尾支部長の任を務められました山脇悦司・前八尾支部長にその栄を称え、感謝状の授与式が行われました。

龍華太鼓の活気溢れるオープニングにより開会致しました懇親会は、盛山

博男・東大阪支部長のご発声のもと、普段はなかなかゆつくり会うことのできない同窓や先輩後輩と親交を深める機会となりました。懇親会も佳境を迎えた頃には、藤本春光先生による河内音頭が、そして近畿大学応援部による演舞がはじまり、会場はこの日一番の盛り上がりとなりました。

今記念総会並びに懇親会につきましては、約一年前から細川勝治さんを委員長とする実行委員会を結成し、準備をしてまいりました。実行委員会をはじめ、本当に多くのみなさまのご協力により、楽しく活気溢れる会を開催できましたこと、深く感謝申し上げますとともに、これからも校友会の発展、会員相互の交流深化のため、新役員体制のもと一層の努力をしてまいる所存でございます。みなさまには倍旧のご指導・ご声援を賜りますことをお願い申し上げます。ご報告と御礼に代えさせていただきます。



八尾支部結成35周年記念総会

静岡県支部会報

「校友しずおか」第五号

支部長 遠藤 能文

定期総会の報告と校友との橋渡しの支部会報が、発足六年目に第五号が発行をみた。例年の総会ご出席の来賓の言葉に続き、本年は特に「校友課の窓」として本部で全国支部のお世話を頂いている四人のスタッフを紹介している。これは恐らく百九十支部で今迄にない計画ではないかと自負している。本部と支部が少しでも身近になることができればと言う願いからです。お願も分かり電話でも今まで以上に親しみがわくものと思います。機会を見て尋ねるにも、十号館十階の校友課への敷居も低くなり、両者の交流もさらに円滑になるでしょう。

その「校友課の窓」の中で校友課長より、静岡県支部会報について「これから、支部活性化のため継続してほしいと願っています」と言う評価を頂き、勇気百倍頑張っていくつもりです。この拙いA四版・四頁・年刊ですが、毎年の全国支部長会議の資料の中に入れてもらい配布されています。それは反響を願っているからです。どうぞどんなことでもお感じになったことをお寄せ下さい。もしご覧になりたい方は九十円切手を静岡県支部事務局（〒四

二二八〇四二 静岡市石田二一十二
一七四ノ宮尹宛へお送り下さい。また、最近号の会報をご惠送頂ければ幸いです。参考にさせていただきます。
静岡県では、梅友会・学習会が「梅友しずおか新聞」を発行し、「校友しずおか」と連携して、総会も同日に行い、懇親会は合同で行います。本年は学習会十三年、梅友会十年、校友会六年の節目で、「梅友しずおか十周年誌」を刊行します。近畿大学三兄弟は力をあわせていきます。ご指導下さい。

橋本・伊都支部長
高野町議会副議長

平野 一夫

日増しに秋も深まりいく今日、校友皆様益々ご清祥のことと心からお慶び申し上げます。

平素は何かとご高配賜り有りがとうございます。

私の支部は和歌山県の北部大阪に近接する会員一、二〇〇名の一市四町一村よりなる広域支部です。校友が一同に会することは出来ず、代表校友もつて支部運営をしております。

さて、全国的に少子高齢化が進み、国、地方の財政状況が厳しくなる中、市町村合併が、私の町にも当然のことながら避けられず、一市四町一村だったのが、私の町と隣りの町が残り、合併協議会を継続調整をしている現状です。

一、二〇〇年の歴史と文化をもった私達の高野山が将来、夢のある町、子や孫に恥じないような町づくりの為懸命の努力をしております。

また七月七日には待望久しく待ち侘びておりました高野山世界遺産登録も正式に認められいよいよよまして、この地に生きる身の誉れと共に久しく、これが発展と保全に尽くす責務の大きさを痛感している次第です。

三十三年前、私が青年団長をしていた時お盆恒例のローソク祭りを計画した行事が今年で三十一回目を迎え、世界遺産に登録された、奥の院参道は、参拝者がとまず、ろうそくの火で幻想的に夏の風物詩として定着致しました。

そして青少年活動のひとつとしてボイススカウト活動をやり、紀北地区のスカウト発展を八月六日から八日まで、テーマ「はばたけスカウティングひろげよう友情の輪（和）」をテーマで第十三回大会がかつらぎ公園にて開催しました。

四年に一度キャンプ生活を通じて、自然の大切さを学び友情を深めてもらう為、那賀・伊都・橋本エリア約五〇〇名。幼児から二十五才年令がモンキーブリッジわたり、バグラライダー、カヌー、寺修行の体験、ハンドクラフト等体験しました。

高野山で行う西日本学童野球高野山旗争奪大会では、地元高野山少年野球クラブ代表として準優勝、優勝の成績をおさめることが出来ました。

今後校友会皆様のご支援ご協力をお願いし、時節柄諸兄のご健康とご多幸をお祈り申し上げ報告とさせていただきます。

大阪狭山支部幹事長

古川 照人

平成十六年度の支部総会は、五月四日（火）に、本市にある近畿大学医学部の専門棟にて行われました。あいにくの雨模様でしたが、十一名が出席しました。

ご来賓には、本部校友会から山口英治幹事長及び、校友会事務局から糸井卓矢様をお招きして開催致しました。総会冒頭、学生時代を思い出しながら近畿大学の校歌を出席者全員で斉唱致しました。

その後、中田全亮支部長より挨拶があり、ご来賓及び、会員の方々に日頃



大阪狭山支部総会に集った校友の皆さん

の感謝の意を述べられ、支部としてのこれまでの活動や今後の活動など話されました。

続いて、来賓の山口英治幹事長よりご挨拶を頂戴し、現在の大学の様子や校友会として目指すべき方向など話されました。

その後、出席者による自己紹介と近況報告がなされ、お互いに情報交換しながら交友を深められました。

そして、審議事項すべて承認されまして、最後に、再度、声高らかに校歌や近大節などを斉唱し、総会は有意義に終了致しました。

今後とも、支部の発展はもとより、母校並びに校友会の発展を願い、活動して参りますので、皆様方のご支援宜しくお願い致します。

大阪市阿倍野支部長 肥田 昭

校友の皆様お元気ですか。

大阪市阿倍野支部は昭和五十七年五月十四日に設立し、二十二年を迎えます。

その間に休眠状態の時もありましたが幹事、役員会を度々開催し、平成十三年に第三回総会を開催し、その後毎年続けて総会を開催し親睦を図っています。

昨年度は小川幹事の働きで、大学の現状を長瀬駅から学園全体の最近の状況まで多くの映像をパワーポイントを用いて説明がありました。参加者は卒業時の思い出と比較しながら学園のすばらしい発展ぶりを誇らしげに見詰めていたのが印象に残っています。

さて、会員についてですが、本来なら阿倍野区に在住している者と阿倍野区に勤め先を有する者全員を正会員とすべきですが、年々増加するため通信費など維持することが不可能になりましたので、実質上支部に通信費を支払った人を主に連絡を行い徐々に輪を広げて支部会員を増やすよう努力しています。

しかし、電話等で参加を呼びかけたりお誘いをしていても良い返事が返ってきません。

理由は何かと思われますか。それは卒業時に終身会費を支払っても校友会から会報や総会通知も送られてこない。以前は送られてきた。また在学中に大学に対し多くの不満をもった人が沢山いた。中には言葉荒くどなったたり怒っている人もいた。

この点については言いにくいことですが、学園全体の体質にあり教職員全員が反省し対策を講じないと今の若者を引きつけるだけの母校とならないでしょう。

時代の変遷と共に、校友会や同窓会に対する考え方は大きく変わったと思います。

これからお互いに根気よく一年に一人でも多くの人が催しに参加し、来年も来ようという気持ちになってくれるような楽しい総会になるよう努力しています。

ているのが我が支部の現状です。支部の運営について良い知恵があればご教示願います。

近畿大学校友会の益々の充実と発展をお祈り申し上げます。

『支部活性化をめざし・Ⅱ』

東大阪支部

支部長 盛山 博男
幹事長 宮崎 利一

本学の地元支部として東大阪支部は目立つ存在であり、支部活動の活性化を重点目標に活動を進めております。『百人総会』の目標も本年は六月二十日に開催し、四十件の校友協力者と七十五名の参加協力者を得て盛会のうちに総会親睦会を無事遂行出来ました。



東大阪支部 総会風景

第五回定期総会を終えて

岐阜県支部長

原野 光 央

二〇〇〇年に支部設立以来、五年目に入りました。

この間、総会を軸に校友の皆さんと活動を進めてこられたこと、大変嬉しくおもいます。

設立当初計画した、機関誌「校友ぎふ」の発行など継続した活動ができてきました。

今年の総会には同じ下宿にいた先輩を誘って参加いただいた校友があつて、盛り上ったり、来年の総会を迎えるのがたのしみです。

一方、大先輩の三重県支部、弊支部と同時期に設立の愛知県支部、静岡県支部、そして各県の校友会の皆様との交流を深めることができました。九月五日には静岡県支部の総会に出席させていただきました。

末筆ながら本部からのご指導ご支援

に感謝し、活動の近況を紹介させていただきまし

進化そして拡充

神戸支部長

春 本 佳 和

皆様には、ご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。

私たち神戸地区連合会は、校友会神戸支部と梅友会兵庫支部そして豊梅会兵庫南支部の三支部が連合して運営されており全国でもユニークな存在であります。

当会は、毎月一回定例幹事を開催しており、毎回二十名前後の役員及び幹事が出席しております。

今年四月二十五日(日)の平成十六年度第五十一回神戸総会には、「進化そして拡充」をテーマのもと、世界



第51回 神戸支部総会の1コマ

初!「クロマグロの完全養殖」を達成された熊井英水教授を特別スピーカーとしてお迎えし開催致しましたところ、昨年に続き百六十二名もの多くの校友とご家族のご参加を頂くことができました。

これからの一層、近隣支部との交流を深め、地域の活性化に努め、母校近畿大学と共に夢のある未来と発展に寄与し、「進化そして拡充」をテーマに掲げ神戸地区の校友と共に一丸となり全力で活動して参る所存であります。

又、今年の納会は、十二月十一日(土)開催です。

尚、来年度の第五十二回神戸総会は、平成十七年四月十日(日)に神戸東急インで開催予定致しておりますので、よろしくお願い致します。

「研修旅行の思い出」

神戸支部副支部長

山 崎 博 司

(昭和四十二商経卒)

当会では年に一度研修旅行を開催致しておりますが、昨年の秋(平成十五年九月十五日)は鳥取県の鹿野温泉に一泊二日で行って参りました。

一日目は、兵庫県の平福郷土資料館を経由し鳥取県の河原城と流しびなの館を見学したのち私たちの宿泊する

「山紫苑」につき、ゆったりと温泉を楽しむました。

名譽会長の終 徹先輩を始め、大阪からは梅友会大阪府支部支部長の本山昌宏様、逢坂シズエ様、小山親子様三名のご参加を頂き、兵庫からは梅友会兵庫支部支部長の末永治雄様、そして神戸から豊梅会兵庫南支部元支部長の永井三千代様のご参加を頂き総勢二十名で、その夜の宴会ではおいしい料理とお酒を頂きながらカラオケやダンスで大いに盛り上がり、最後に春本会長の一本締めで閉宴致しました。

一夜明けた二日目、山中鹿之助縁の城山神社を見学し、岡山県へと向かいました。

岡山県では英田郡大原町の「武蔵の里」を見学し故郷創生資金で作られた「二億円の武蔵像」を見て感激しその後、あじさい寺で有名な大聖寺では素晴らしい庭園で昔を偲びつつ、約三十分の散策後、道の駅栗倉で二十世紀梨



神戸支部研修旅行の思い出

を買い込み、来年も元気に全員旅行に参加できるよう誓い合い帰路につきました。

十六年度の研修旅行は、十月二日に瀬戸内の「小豆島」を予定しております。(旅行委員会 委員長 山崎博司)

川 西 ・ 猪 名 川

支部発足

支部長 福 井 昌 勝

本年二月七日、アステ川西において、念願の川西・猪名川支部結成総会を開催しました。一年前から支部結成準備委員会を立ち上げ、校友会神戸支部様をはじめ各方面よりご指導をいただきながら総会の開催準備を進めてまいりました。

午後六時、各方面からの来賓のご臨席と百名の校友の参加のもと、古川雄三副支部長の開会の辞により、記念すべき第一回総会が始まりました。校友会本部近藤副会長、地元首長、県会議員のご祝辞をいただき厳肅な総会となりました。

第一部の総会に引き続き、大杖卓二副支部長の乾杯で第二部の懇親会が始まりました。田淵岩夫の総合同会場で応援部の演舞。漫才、歌など盛大なアトラクションが進行され、第一回目の支部総会が盛会裏に閉会しました。

川西・猪名川支部は、校友のネットワークを活かし、母校近畿大学の発展

に寄与すると共に、校友の住む市、町の街づくりを地域と協働して積極的に支援してまいります。また、様々な支部活動を展開し、校友の真の友愛を深めると共に、生きがいや地域の発展につなげていく原動力となる夢ある支部運営を進めてまいります。

今後とも近畿大学校友会川西・猪名川支部へのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

香芝市に「縁の下」

あり!!

香芝支部長

西川 泰 弘

奈良県北葛城郡香芝町。大和三山（南から金剛山・葛城山・二上山）の風光に恵まれた。静かな郊外。田園の町。五位堂村、下田村、二上村、志都美村の四ヶ村合併で香芝町が誕生したのが、今から四十八年前。そして十三年前には、香芝市が発足し、今や人口六九、八二八名という大阪方面行西側の開発都市となりました。

この市内で、校友会会員も一、〇二〇名を越えて、今、近畿大学校友会香芝支部では昨年創設十周年記念を盛大にお祝いをしました。当時の関係者皆様、香芝市長様、市議会議員様はじめ多くのご来賓方々及市行政関係者皆様、市内在住校友友人皆様に、誌面を借りて、もう一度、改めて感謝申し上げます。

げます。

大寒の日の朝、近鉄下田駅へ向う途中、数名の、リュックを背にしたご婦人に逢いました。その時のご婦人の方の会話（「アーあれが二上山だわ……!!」風は強いけど晴れてきて気持ちいいね……。さあー行きましょーう!!」）わざわざ他の都市から冬山散策に人々が来て下さる二上山麓の我が街。香芝に住いる幸せを改めて実感した。或る冬の朝でした。更らに、此の街の自慢がもう一つあります。それは、校友会香芝支部の長老、「大専二十二年数卒。香芝市孤井在住、藤本和正氏」であります。藤本氏は生粋の香芝人で性、豪放磊落、大きい顔に、大きい地声、怒鳴るような正論、主張、曲った事は金棒でも直にしよう!! 真つすぐにしか歩かない気概。我々の尊敬する先輩です。「藤本氏」は永年、旧国鉄、現JRに勤続され、休日は、田畑の耕作、夜は本学理科で数学科を学び、卒業された。独学立行の優秀の徒であります。その間、香芝住民の一人として、JR業務実績を踏えて、市の開発事業、特に鉄道関係に力を入れ、約三十年以前から、香芝市内に「香芝駅」新設を目指して、旧国鉄に対し、弛みなく、交渉をしてこられました。

昭和四十年頃から、地域住民が要望していた、JR下田駅と高田駅のほぼ中間にある「五位堂信号場」が「JR五位堂駅」という名の新駅として、誕生

生いたしました。

新駅は、地元の要望を踏まえ、機会ある毎に、歴代の市長、地元自治会、議員の皆さんが粘り強く、JRに交渉し続けてきた甲斐があつて、漸く今年、平成十六年三月に、新駅「JR五位堂」として開業されました。

そして、もつと力を入れて書きたいのは、最寄りの「JR下田駅」名が「香芝駅」と改名された、ということです。

この地元の充実発展を目指して、長年月の間一途に、努力を盡して参られた「藤本和正先輩」は、正に「香芝市



私の人生は 同窓会そのもの

工学部同窓会相談役

竹内 正彦

学生時代に出会い毎日一緒に遊んだ友人、同窓会員として、いろんな事を教わった先輩、そして卒業してから付き合いを深めた後輩等私の人生は同窓会そのものです。

の縁の下の力持ち、第一人者!!」です。

我々の誇る「近畿大学校友会、香芝支部」に、こんなに力強い、長老大先輩が在任されている事を、今、改めて知って胸を張っています。

大自然の山々、多くの治水池、古い名所、旧跡に加えて、尊く嬉しい豊かな人間関係が一杯溢れる、郷土「香芝市」に在住する、誇りと幸福を、今、改めて実感しています。

尚、文中「香芝市発行の（月刊かし）」より多く引用させて頂き、お礼申し上げます。

その上、出張や実家に帰った時等に近況を知らせ合う友人、同窓会や会合で定期的に顔を会わせる先輩や後輩と輪を広げております。

入学してから間もなく半世紀になりますが、会えば直ぐ学生時代に戻りクラブの事とか先生の些細な癖等不思議な位覚えていて思い出話に花が咲きます。

胸が熱く成る沢山の思い出は私の大きな宝物です。

また、近年のOBの素晴らしい活躍は自慢の一つであります。立派な後輩がどんどん増えていくのは、これからの大きな楽しみです。振り返れば私の生活の中で母校は大きく係わっています。これからも近大が益々ご発展されますよう祈念して筆を置きます。

役員として自覚をもつて

産業理工学部同窓会相談役
昭和四十七年電気工学科卒

日下部 親男

去る七月二十四日(土)福岡の地に於いて、第十七回産業理工学部同窓会が本部校友会や校友会支部又、梅友会代表の方等のご出席を頂き、盛大に開催されました。

我が母校は十九年前、第二工学部より九州工学部に変更され、そして今年四月、学科改組も伴い「産業理工学部」として船出致しました。

当然のことながら、同窓会も八月より「近畿大学産業理工学部同窓会」として再出発する事になりました。

昭和六十二年、第一期生と二期生の先輩方を中心に卒業生の並々ならぬエネルギーでこの同窓会が発足しました。

そして十七年の月日が流れ、同窓会員も一万二千名余りになり、さらなる飛躍と共に母校に対しての貢献が求められています。

私達役員はもう一度、同窓会の役割・働きを改めて考え、議論していく必要があると思われまふ。

「もっと卒業生の皆さんに同窓会に対して興味を持って頂く」「年に一度

の総会により多くの同窓生の参加を促していく」「近畿大学他学部の皆さんとの交流をさらに図る」「母校の教職員の方々のコミュニケーションを図る」「在学生諸君との交流を持つ」など課題はたくさんあります。

考えてみますと、私達の周りにはたくさん「会」と称するものがあります。

誰が運営しているのかと問えば、「会員すべての人で運営している」という言葉が返って来ますが、ごく一部の役員の方々が運営しているのが現実です。

「会」の設立には、その会の必要性和目的を必ず持っています。

設立当初、大半の会員は目的意識を持ち、その目的に向かって、エネルギーを惜しみません。

しかし月日が経つうちいつの間にか、例会会員であっても「自分には関係がない」と思う人達が増えてきます。

特に同窓会というものはそういった風潮に流されやすく、役員も例年決まっていた行事だけこなせば、役割を全うしたような錯覚にとらわれてしまします。

数十人の会から数万人の会がありますが、その運営に関しては、数人から数十人の役員が担っています。

その役員が「誰かがやってくれる」と思ってしまったら、その会は現状維持どころか衰退していくしかありません。

ん。

役員という役目を受けた以上、その人は望む、望まざるにかかわらず、会をより発展・推進していく為に「会に奉仕する」責務を負っています。例えば、どこの高校・大学の同窓会も出席者は当番回期以外、五十代以上の方が大半を占めています。

役員さん達は皆さん「もっと若い人達にも参加して欲しい」と思っています。ですが、「ではどうしたら、どのような企画を立てたら若い人達も参加してくれるか」という議論を真剣にどこまでなされているでしょうか。

また、会によっては議論してゆかなければならない課題がたくさんあるかもしれません。

私達役員次第で、「会」は発展するか、衰退するかが懸かっています。

言い換えれば、校友会・同窓会を真剣に考え、議論し、実行にうつせる人は、実は数万人・数十万人の会員の中で、私達以外にはいないということになります。

第四十号校友会報への投稿に際して、改めて役員としての責務を痛感している次第です。

幸い私達同窓会は今年、新役員を選出し、私達はその役を受けていく事になりました。

母校の発展と共に私達役員は、「設立当初の気概」と「役割に奉仕する」気持ち忘れず、その責任の重さを自覚し、議論を重ね、会の発展にさらに

寄与させて頂きたいと思っております。

未来の近大に期待する私の真面目な夢

校友会 幹事

昭和五十二年法卒

藤川 富士夫

私の暮らす街、神戸でも携帯電話で会話やメールをしている人を多くみかける。さて道行く人に「携帯はどうして相手と話ができるの?」と質問すれば「電波でつながっているのに決まっているでしょ」と返事があるだろう。現代人の私達にとってこの「あたりまえ」のことを江戸時代に説明するとどうだろう。「何百里も離れた人と話などできるはずがない、それは乱心か?」と返事があるだろう。飛行機が飛ぶことと船が浮かぶ理論は少しわかるが、私もこの「現代のあたりまえ」が不思議でならない。もちろん通信工学の専門家でも「見えないものを研究している」のには違いなく「見えないものに気がついた」発見者が、それを世間に説明した勇氣は筆舌につくしがたいと思う。

ここからは私個人の興味の世界になるが、さてこの宇宙や地球で「人間に

見えないもの」の未知数はどれくらいあるのか？これからの日本の大学に一つ期待したいものがある。それは「近畿大学〇〇学部心霊物理学科」の出現である。江戸時代の人が現代を想像し難いと同じく、遠い将来この分野が正しく解明されることを夢みている。偶然にしては出来すぎていることや不思議な体験の一つくらいは誰もがもっている（例えば血縁の不幸を知らせる夢枕とか船舶や航空機事故の予知など）。しかしそれは心の問題とされ、医療や裁判などで参考にすら当然されない。今まで「心の分野」とされ公的には取り上げられないものの真実が科学で解明された場合、世界は大きく良い方向に変わる。真実が解明されると困る人達もいるだろうが、真実を追究するのが学問だと思う。すでに英米では研究されているが、我国も学部学科として研究し知らない世界の有無を知る時代に来ていると考えます。私は、宗教といわゆる「虫の知らせや予知能力」とは別問題だと考えている。「電波の発見」と同じく最初は人々からは信じられない分野でも誰かに研究を始めてもらいたい。医薬、印刷機の開発にも研究中に偶然の発見があったように、何かに出会えそうな気がする。百年後の校友会で「あの世の先輩からの霊示会報」などが出来るかも？こんなことを考える私の精神状態は異常なものでしょうか。人間社会の指導者の判断が完璧とは限らないという謙虚さを、平和への戒めにつながることに役立て

ばと考えています。

私の好きな道 「大学通り」

近三十機 西川 泰弘

先般、平成十六年五月十一日（火）昼頃、近鉄長瀬駅前北側の広場に差しかけた時、本学のアメリカンフットボールユニフォームを着た学生が、多勢、ポイ捨てタバコは勿論、袋と手錠を持って、本格的に「塵芥拾い」を熱心に励んでいました。

街を綺麗に、そして「近畿大生の心」も綺麗になる事。「街も学生も美しくなる」と思うと、殊の外、嬉しく、同時にゴミ拾いの若い大学職員に声をかけ、共に頑張らねば、心が洗われたいように喜んだものでした。改めて、大学の職員の方、アメリカンフットボール部の学生諸君とご指導者の皆様、敬意を表します。

私は長瀬の街、大学通りを愛し、好きなので、少年時代、大学通りで育った幼い頃の思い出から約七十年、今でも、「長瀬駅」から大学や高校へは必ず徒歩通学をしています。昔、少年は当時の「大学応援団」の白い羽織を着た「団長」を「近藤 勇」と拝名して、一緒に並んで、胸を張り活歩したものでした。

一度、教職員の皆様も、大学通りを

徒歩で登下校してみられたら!!車道滞りのイライラも癒やされるのでは?。そして、長瀬の街の人々の気さくに触れ、地元を愛ほしむ人々に接してみるのも、楽しみの中で、人格を磨いてくれることになる、と思います。

結構、純真で真直ぐな人々が多いです。

登下校時、学生と共に、語り乍ら歩くのも、何とも言えぬ楽しいことです。私は、その序でに、機を捉えて、「歩きタバコ」を止めさせたり、「ポイ捨てタバコ」を拾わせたり、注意を与えて、憎まれていました。でも、あの「アメフト学生」の塵芥拾い後、暫くは大学通り全体に「学生の汚れも少なくなった!!」と地元の人々から、喜びの声、を聞くことが出来たものでした。学生諸君と高年配者たちが、共に学びつつ歩く最高に楽しい絶好の道、それは「大学通り」です。春、新入生多勢。夏、研修会、補習講習会等への自主参加の、年令差なく色々の学生の往来。秋、テストと学園祭に忙しそうな男女学生。冬、学生達に加えて、入試受験生や見学者。四季折々の様相も笑えましい「道」とも、いえるでしょう。私は、これからも、「大学通り」の新旧、色々多勢の地元の人達と、言葉を交わし乍ら、男女多勢の学生諸兄姉と一緒に、登下校、東向き、西向きに歩き続けたい!!と思っています。今日、総会で母校にご参集の諸先輩方は、長瀬駅から「大学通り」を経て、登校されたことでしょうか。そして西正門入口

で、「先代世耕弘一先生の銅像に拝し、きつと懐古の情に、浸り切って、それぞれの感慨に耽られたことと思います。」「大学通り」で育てられた私にとっては、特に懐かしい、好きな道です。

高齢者になって 思うこと

三十九年通信教育学部卒
岡山県梅師会支部長

植木 豊

校友のみなさんには、ますますご壮健にてご活躍のこととお喜び申し上げます。私もいつの間にか高齢者の仲間入りをし、このたび友人に誘われて、高齢協の「マイスター飛躍塾」の結成に参加しました。新世紀に入り高齢化社会を迎えて、生き甲斐と心の豊かさが求められています。そこで生涯学習の一環として、モラロジー教育者研究会と松下幸之助翁の提唱している、PHPの社会活動に参加し元気で頑張っております。

さて、人生とは何か？人生は複雑で奥行きが深く、まだ修行中の身で、人生を語るのをおこがましい限りですが、高齢者の仲間入りをしたいま、人生を豊かに！を目標に出会いと別れについて考えてみました。

人生は出会いの連続である。よりよ

い人生を送ろうとするならば、「いい出会い」をつかむことが大切である。せっかく出会うのであれば、その出会いをプラスにしていく方法を沢山覚えたいものである。また出会いも大切だが、「出会ったあと」のことはもっと大切にしたいものである。現在の世相を考えると、物の豊かさ、便利さだけを追い求め、人間としての心をどこかへ置き忘れてはいないか。我が国も戦後は食べるものもない貧しい時代だった。しかし、人々には思いやり優しさがあつて、心温かい人と人のつながりがありました。人間関係が、日増しにますます冷え切っていく、そんな思いが大きくなっていく昨今です。最近、若い者には「メル友」という、Eメールだけでメッセージを送り合うだけの出会いが増えている。

私の職業柄、毎日多くの学生、卒業生、先輩、後輩、知人などとの出会いがある。日常生活でも、さまざまな人々との出会い、また、読書でも、心の支えとなり、人、感動することに出会います。人は一人では生きていけない、他人を大切にすることは、自分を大切にすることで、自分を大切にしている人は、他人も大切にしていると思います。

一般的には、若い時代は「出会いの年代」であり、年齢とともに「別れの年代」に移っていくように思えます。人生すべて、出会いがあれば別れの日があり、また別れがあれば次の出会いがあります。この出会いと別れは表裏

一体とも思えます。この関係は人生の妙であり、その味わい深さでもありません。ともあれ、別れの集中する高齢者としては、「別れを越えて、いかに新しい出会いを創造するか」が、最も重要な課題であると思います。

友人は「人生最大の資産である」といいますが、知人は多くても、本当の友人、その関係が永続する人、は意外と少ないのではないだろうか。これからの人生、校友・職場生活・社会生活での出会い、人間関係を大いに発展させ、実りのあるものにしていきたいと思っております。最後に人生において、大切なことは「心身ともに健康である」。お互いに、自分の健康管理も社会のため、仕事のうちということを考えて、人それぞれのやりかたで心身ともに健康を大切にしたいものです。……物の豊かさより、心の豊かさを……

(元高等学校教諭)

『徒然草』から学ぶ处世

平成十四年 通信教育部(法) 卒

池田 一 四

(梅友会奈良県支部)

今年十六歳を迎えた。平均寿命の延

びによって、「自分はまだ若いほうだ。」と日頃思っている。町社会福祉協議会の運営に少し係わりがあり、老人福祉や広報編集などに参画させて頂いている。自分自身の行く先を時々考えることがある。兼行法師が七百年前に話したと言われる語録として『徒然草』があり、今日でも日本古典の教材として伝わっている。

自分のこれから先の生活を予想すると、そろそろ身辺整理をしておくことの必要性を感じるようになった。

兼行法師は『徒然草』第四百十段で述べている。(原文で表現したいところだが、紙幅の都合で現代口語文に翻訳して記する。)

「自分が死んだ後に財物が残ることは知恵のある者がしないことである。つまらない物を蓄えて置いてあるのもぶざまであり、よい物は執着したであろうと、とりとめのない感じがする。うるさいほどはなだしくたくさんあるのは、なおさら遺憾である。『それは自分が貰いたい。』などという者たちがあつて、死後に争っているのはみっともない。死後は誰にやると考える品物があるのなら、生きている間にこそ譲るのがよい。朝晩どうしても無くしてはならないであろう物こそは持っているのもしかたがなかるうが、そのほかは何も持たないでいたいものだ。」

最近、蔵書(と言えようような立派な本ではないが)を徐々に処分し、三冊買えば六冊処分という具合に減らしている。どうせ持っていて、もう自

分には「また読む」機会・時間は残っていない。残していても家族はその処置に困るだけだ。痴呆症になってからは自分で処置できないので、元氣な今こそ自分の古い先を身綺麗にしておきたい。

数年前から気になっているのが長い間のアルバムで、ずいぶんのスペースをとっていて、これこそ家族にとって処分するに困る代物だろう。空いた時間を利用して、昔のアルバムから残したい写真をパソコンに取り込んでいく作業をしている。アルバムは自分の軌跡でもあるが、息子や娘にとって、これほど邪魔なものもない。財産は残すほども無いがそれなりに整理してわかり易くしておこうと密かに書類の破棄や区分を進めている。借金は残したくない。長年生命保険会社に勤務していたので人の死という場面には度々遭遇して、それぞれの家庭での相続がらみの揉め事も見聞した。こんなことを書いてみると今にも死ぬのかと誤解を受けるかも知れないが、老人福祉の面でボランティアのようなことで忙しい反面、自分のことを自分でやるだけやっておこうとの心境です。

会員の皆様にはいつまでもご健健でお過ごしください。皆さんはきつと永寿をまとうとされるでしょう。若い人はこんなことに心を惑わされることなく前を向いて長い人生をしっかりと設計してください。

成功は九十九%の 失敗に支えられる

昭和六十年通信教育部法卒

坂井幸治

「輪戦国時代を勝ち抜いた、人生の達人とも言われる本田技研工業の創業者、本田宗一郎さんはこう語っていた。「成功とは九十九パーセントの失敗に支えられた一パーセントである」

しかも、同じ失敗でもやっていい失敗と、やってはダメな失敗がある。やってみてやはり駄目だったと、自分で分かることもその先の財産になっていく。仕事を甘く見たり、注意を怠ることによっての失敗をきたすことは許されない。

私はこの名言に感服しながら、自分の若い頃の失敗が走馬灯のように脳裏を巡った。

終戦の混乱期旧制中学を卒業した私は、これから何をしようかと色々考えた。拳銃の果てに戦争で荒廃した都市の復興を思い立ち、建設業に身を投じることにした。しかし建設技術の修行はそう容易いものではなかった。いはらの道も五年歩むと何とか、人並みの技術を身につけることができた。

それからの私は持っている若い力を存分に発揮し、大手建設現場で汗にまみれて働いていた時であった。作業現場のおばさんが、

「人に使われておったんではつまらんぜ」

この言葉が弾みになった。私は思い切った家の作業場の隅に小さな事務所を建て、「S工務店」という看板を掲げた。昭和三十三年のことであった。

昔から商売には元手がいると言うが、金もなければ得意先もなく、たまに増築や修繕の仕事が入るぐらいで商売にはならなかった。名刺を持って友人知人や、心当たりを回ったが、ほとんど無駄足だった。世の中はそう甘くはない。仕事の受注に苦慮した。

ある日、中学の同級生が、新聞に広告をだしてみても、また知恵を授けてくれた。私はなけなしの金をはたいて実行した。

効果はてきめんだった。持つべきものは、やはり友である。看板を掲げて三年目を迎えた正月だった。相互住宅という会社の下請仕事の注文が入った。工事金額は一棟百五十万円の住宅三棟、計四百五十万円の大きい仕事であった。

だが、相互住宅？聞いたことないな。一瞬不安がよぎったが、一棟分の百五十万円は先金、というのに安心して工事を請けた。仕事は順調に進み、工事期間までに納めて、早速残金の請求に行った。ところが、

「一カ月だけ待っててくれないか」

社長が言った。私は不安を感じ「待てない」と言いたかったが、社長の穏やかな態度に、我慢した。

そして一カ月。待ちかねて集金に行

った。

(やられた！)

もぬけの殻であった。

茫然自失。不用意に人を信用した自分が情けなくなり、絶望に引きずりこまれる思いの悔し涙に暮れながら、とぼとぼ家路についた。真夏の太陽が無慈悲に照りつけていた。あの日のことは忘れられない。

近大二部雄弁会五十年史 (青春の熱き思い)の発刊に よせて

春秋会会長

山脇悦司

近畿大学、春秋会(二部雄弁会)のOB会では毎年新年会を開催し懇親を重ねています。雄弁会発足以来五十年の歳月が過ぎ、物故者も多くなり、又現役の雄弁会が六十年代に消滅している中で、この際手持ちの資料を整理し、歴史ある雄弁会活動を記録し後世の参考になればと五十年史の作成を計画しました。各年代から編集委員八名を選び、編集作業を開始しました。

まず、会員全員に趣旨の徹底を図るため「近畿大学二部雄弁会五十年史刊行計画概要」を作成し、資金面の協力、原稿の執筆、資料の提出、昔なつかしい写真の提供などを呼びかけ賛同者を募りました。

反響は大きく、原稿の執筆、資料や写真の提供、資金面の協力など多くの同志の賛同を頂きました。

編集作業を進めるに従って私共編集委員の知らない分野での新しい発見もあり、今更ながら長い伝統に裏打ちされた、二部雄弁会の歴史の重さを感じたものでした。

年史は各年代を大まかに次の五つの年代に分けて、第一章(昭和二十年代)雄弁会章創刊、基礎固めから拡大路線へ、第二章(昭和三十年代)継承発展期、全国遊説、学生国会で活躍、第三章(昭和四十年代前半)充実拡大期、第四章(昭和四十年代後半)成熟躍進期、自主運営の始まり、第五章(昭和五十年代)発展収束期、伝統維持のため奮闘、として整理しました。

また、資料編として沖縄遊説報告抜粋、春秋会の記録、二部雄弁会活動の歴史、年譜として時代背景、近大の変遷などを盛り込んだB五版一六一頁の年史ができました。

その完成祝賀会は去る四月二十四日石川県、富山県、千葉県、大分県、静岡県、島根県など遠方からも久しぶりに同志が集まり、回顧談に花が咲き懇親を深めました。

年史は、近畿大学本部に図書館を含めて五十冊を、更に九月開催の校友会全国支部長同窓会長会に出席の百五十名の皆様にも贈呈し、一年にわたる刊行会の仕事は無事終わることになりました。この間ご協力頂いた皆様には厚

くお礼申しあげます。

故「東川文雄先輩」 に捧ぐ

校友会顧問
近三十 一機

西川 泰 弘

平成十六年八月十四日(土)、玉泉院で「故 東川文雄氏」の告別式が執り行われました。当日「葬儀委員長、西川泰弘の挨拶」

葬儀委員長として、不肖乍ら一言、ご挨拶を申し述べさせていただきます。

昨日お通夜と、本日は、猛暑の上にお盆行事で、ご多忙の中を、このように多勢の皆様、御臨席を賜わり、誠にありがとうございます。

皆様方(小若江地元近隣町会の方々、母校近畿大学学園関係教職員全般、殊に、校友会、医学会、薬友会、同窓会、川文産業株式会社。そして、浄土真宗大谷派ご住職、玉泉院。枚挙に遑がない程の多士済済……)。のご厚志をもちまして、ここに「東川文雄」の葬儀を盛大に執り行う事が出来た事を厚く御礼申し上げます。「皆様の御陰様」という言葉を改めて実感致しています。

「故 東川文雄」先輩は、人ぞ知る、豪気傑物で、理非曲直を常に弁まえ、一直線に反骨精神を貫ぬき、八十年の生涯を母校近畿大学への奉仕で、「炎の人生」冊子をそのままに具現されました。男子の本懐(人生意気に感ず!!)。そして、後輩、学生、生徒達には殊の外優しく、意外?な程の童顔で独特の暖れ声(お世辞でも美声ではなかった)で、ニコニコと、温かく情に厚い好々爺でした。

懐かしい人、それは、東川先輩です。キリンビールは2本、お酒は2合迄。と度々アレホド言うたのに?幽明境を異にして、今、先輩の存在感の大きさに心打たれています。

「飛竜在天」故、御先代世耕弘一先生、先代様世耕政隆先生、と共に天に在りて、お酒を交わされて、下界の全て、殊に母校近畿大学と、東川ご家族、晃子様、光弘様(医師)夫妻、武夫様(薬剤師)夫妻と三人のお孫様達を見守って下さいませ!!純子ちゃん、展之君、鎮之君でした。

初七日法要で浄土真宗大谷派のご住職が(東光院釋雄造)のお位牌の前で「見る、嗅ぐ、食す、喋る、より」人の声に耳を傾けよ!との法話を拝聴致しました。

明けて、平成十六年八月十五日、(日曜日)お盆の日、未明から、河内

平野は「慈悲の雨」が長い猛暑を耐え抜いている私達の心を癒してくる様に、降っています。そして私達は静かに「東川文雄先輩の霊、安かれ!!」と祈っています。式当日は涙々で話せませんでした。

不帰の客、男、東川文雄様、さようなら!!

百日紅の花が静かに揺れています。今、役員名簿に「東川文雄」ご逝去と記入しました。

追而、尚、当日は、多忙に取り紛れ、ご連絡漏れ、等々、不作法を致し、関係皆様方に、多大のご迷惑をお掛けしましたことを、茲に改めて、衷心より深くお詫び申し上げます。

追記、「東川文雄」氏の四十九日法要は平成十六年九月二十三日(木)に営まれました。秋分の日でした。

近大通信教育に ついての思い出

校友会常任幹事
梅友会本部常任幹事

高野 弘 道

何年か前までは、関西では通信教育と言えば近畿大学と言われるくらい名前をほしまにしていたが、最近では多くの大学が通信教育部を設置して

来ている。近畿大学に通信教育部を開講したのは昭和三十一年、私が来阪して来た当時である。実に四十五年の歴史を持つている。

通信教育部を語るには、世耕弘一先生、現理事長世耕弘昭先生、御園生省三先生を措いては語れない程、当初はご苦労があった事を機会あるごとにお話しを聞く機会を得ました。学生募集に全国くまなく奔走しながら北海道から沖縄、台湾まで今は卒業生三万数千人を輩出しているのである。現在は時代も変わりつつ一般社会人学生から専門学校の併修校生となつて、社会人学生の減少は残念である。

それでは一般社会は通信教育部を卒業して、どんなメリットがあるのかと言うと、一応は大学を卒業していると言うメリットがあります。資格を取得する為の勉強、事業への立上げや、その資格を利用して家業とする者色々とあると思うが、大学で勉強した事はその人生に一ページを残したと思う。私もそのような中で、「梅信」に徳島県先輩が「医師」が卒業論文を書くのに東京まで行って参考文献を探した投稿があり、それを参考にして「設題」レポートを取組んで行った経験があります。

今は、時代も進んでコンピュータ等利用すれば参考資料も情報も得る事が出来る。

私は在学中も、卒業後も色んな役員活動を賜つて来たが今は義務教育のOBの会長をしています。こんな事もあ

りました。

昨年七月の始め世耕弘一先生の夢を見ました。(一度も会った事がない) 大学内銅像横を歩いて来て私の方を見たので思わず頭を下げて通信教育を卒業しました高野ですと挨拶しました。何で見たのだらうと思って考えて見ますと、昭和五十六年から七年にかけて「梅信」に(山は動かず)が連載されていて、その時ドイツに留学されていたとの事でありました。(筆者は世耕弘昭先生) 一度、弘一先生の留学先のドイツを見て見ようと言う考えもありました。私も過去四年の内三回訪欧する機会があり、本年四月ドイツライン川やロマンチック街道を旅する事が出来ました。途中ハイデルベルクは、山本先生(刑事訴訟法)が一年間留学されていました。そのような事が合つてOB会会長挨拶の中で、堂々と私は近畿大学通信教育部「短期大学部商経科」「法学部法律学科」を卒業しましたと皆の前でお話し出来たのは今年の一月の事であった。やはり心の中に、夢の中に、あれば思う事を話せると言う事であろう。

梅友会総会でその事を竹原事務部長様にお話しすると「しっかりといた人」と評価されました。また、同じ席で先輩杉本氏「医師」(元校友会副会長)と談義している中で、通信教育を卒業した事に自信失くしているのではない、通信の学生の減少はNHK学園も影響しているのではないかと指摘ありと話された。事務局も学生募集に

は日夜努力されていると思いますが、私達社会人学生が少なくなるのは淋しい限りである。手取り早い専門学校の下が見えない経営になれば足はすくわれる結果が待ち受けていると思うのである。基本的には根を張っていないければならない。

近大の通信学生は単位を取るのには難しい、がそれだけ実力もつき誇る事も出来る。

現理事長先生が「灰になるまで付き合う」と言った言葉は今でも覚えてい

ジャネの法則とカラオケ

校友会参与

石原 国夫

昭和二十七年の秋・港区三田で、池田弥三郎先生が、奥の細道を論説されておられた際に、ジャネの法則(加齢することにより時が短く感じる現象)について、幼稚園の生徒と老人を対比しておもしろおかしく話されました。私もあれから五二年をすごし、七十才の大峠を越えた今、ジャネの法則を痛感しています。

校友会総会では、亀岡会長の躍進と充実を続ける大学の近況を、胸高鳴らせながら拝聴し梅友会総会では棚田会

長の、サラサリテのチゴイネルワイゼンのメロディを口づさみながら先生の専門分野の環境問題を含め話されて、会のなかやかさと、スミーズさをアピールされておられました。

両総会とも、一年に一度というピッチがこのところ短かく感じてなりません。ジャネの法則のいたずらかも知れません。

総会の懇親会では、各自近況の交換で親交の輪が拡がりをみせています。こうした雰囲気、新卒者へ伝える事で終身会費収入率校友会四十五%、校友会五十五%という数値%も改善されるのではないかと考えます。

低迷を続けている財政も再建特別プロジェクトチームが、積極的に努力されておられることに敬意の念でいっぱいです。

私は通信在籍八年間で得た友人は三十人位ですが、卒業校友会、梅友会の活動で得た友は多く、年賀状をいただいている先輩も三百名となり、私の大きな宝です。

この一二年、甲状腺機能症に苦しんでいて、チラーヂン一日二粒(五十五士)の副作用としての心房細動・不整脈に苦しめられていました。が、医学部の太田先生、八尾の杉本先生、堺の中尾先生方の御配慮と御指導により安定の方向に推移しています。薬剤では①不整脈薬 シベノール(五士) 六錠を朝二 昼一 夕一 就前二 ②心臓薬タナトリル(五) 朝一を服用しています。心臓強化運動もとり入れて

①深呼吸法 ②首振り ③体のねじり ④鼻の下側を左右親指で上に押し上げて鼻のみの深呼吸をする、等も効果抜群です。

チラーヂンの副作用として手の震えがあり字を書くのに老人くさい字となつてしまいました。

チラーヂンの副作用をおさえるのと、ストレス解消法としてカラオケに積極的に参加しています。

国境の風・南こうせつ、愛を眠らせて・南一誠、一輪の花・松山千春、時を越えて・加山雄三、諦めさえしなれば・堀内孝雄、港南・大川栄策、アカシア挽歌・五木ひろし等です。東京高等師範の飯島敏三先生のピアノ特訓(バイエル・ソナチネ・ツェルニー・ハノン)等がベースになっていて、オタマジャクシの付いている曲は一夜漬けで対応していますが、NHK FM 八十八・一サイクルの曲は、自作歌詞カードに誤記多く、赤面の至りです。この半年で一夜漬け曲を含めカラオケで唄った曲数は一月二十四曲 二月二十二曲 三月二十曲 四月二十三曲 五月二十六曲 六月十三曲となりました。

七十才の大峠を大中に超え、急坂をころげ落ちていますが、エンジンプレートを掛け時には立ち止って、安定した生活を、じっくり展開して行こうと心しています。

以上

富士登山 雑感

校友会幹事

帆刈 幸男

日本一の富士山に一度は登って見たものと兼ねて思っていたが、ようやく八月五日、六十七歳にして頂上まで登り、お鉢巡りもすることが出来た。

五日、朝七時三十分には五合目駐車場(二、三〇五m)を出発する時は台風十一号の影響もあって雨の中を歩き出した。六合目(二、六〇〇m)までは登山道・下山道も同じ道で、当初の想像では登山道も案外良く楽な道と思っていた。ところが六合目から登山道と下山道が分かれてから、登山道はだんだん厳しくなり、七合目(二、七五〇m)からは岩山もあって鎖やロープが張られており、注意しながら足場を選んで一歩一歩踏みしめながら、自分の呼吸に合わせてゆっくり登った。空気も徐々に薄くなり、少し歩くと胸が苦しくなり、立ち止まっては大きく深呼吸し、スポーツドリンクを少し飲み、呼吸を整えながらマイペースで八合目太子館(三、一〇〇m)にたどり着いた時は、やれやれと思った。雨もあがり下界の景色も綺麗に見え、富士山の雄大さを痛感した。

山道は険しく大変長く感じた。到着すると十三時二十分になっていた。

途中で昼食弁当を食べながら短時間の休息を取ったものの所要時間・五時間五十分かかった。本八合目の富士山ホテルに到着するやいなやお握りを食べ、お茶を飲み腹ごしらえをして二十分程休んだ後、リュックサックやステッキを富士山ホテルに預けて、十三時四十分には富士山頂を目指して一人で出発したが、岩道の登山道は険しく、空気が更に薄くなり少し歩くと息苦しく、自分の呼吸に合わせてゆっくり、ゆっくり、休み休み頂上を目指し、十五時四十分には無事頂上に到達することが出来た。天候にも恵まれ、風も弱く、富士山頂で大きく深呼吸をし、お鉢巡りをするのにしたが自分の前後を歩いている人の姿は遠くに見え、一人で黙々と歩きながら山頂から下界の景観や周囲の素晴らしい眺めを満喫した。

富士山頂の奥宮でお参りし、山頂の郵便局で記念スタンプを押して、知人へ用意したハガキを出す。富士山頂測候所の係員の説明によると今冬から、無人の測候所になるとの説明を受け、今まで長い年月の観測は大変なご苦労があったと思う。

お鉢巡りを終え十六時四十分には富士山頂から下山道で本八合目の富士山ホテルに向かって下山を始め十七時二十分に富士山ホテルに到着した。所要時間・九時間五十分の富士登山であった。夕食は十九時から簡単なカレーライス、水も貴重でお茶も少なく、風呂

やシャワーなど使えず、汗をかいたまま下着のみ着替え、狭い部屋で一枚の毛布と布団に二人が寝るため身動きも出来ず、うたたね状態で一夜を過ごした。電気は発電機で薄暗く二十時に消灯、就寝。

夜は気温も下がり(十二℃)寒いため防寒用雨具を着たまま寝た。四時起床で水もなく顔も磨くことが出来ない。朝食は冷たいビーフシチューで物資輸送の大変な高い山での生活は想像以上の厳しさを感じた。トイレは自然環境保全のためもあり有料で百円/一回である。(宿泊者は無料)

朝食後下山の準備をして、四時四十分からご来光を見た外に出て、刻々と変わって行く朝空を静かに見つめ、四時四十五分頃から太陽が昇り始める状況を見つめながら、心の中で静かに自然の素晴らしさに感動し、感謝を込め自然とお祈りをしていた。ご来光を拝んでから六時に下山を始めたが、下山道は広く良い道になっており、歩きやすく、休みながら五合目駐車場へ八時三十分には無事到着した。登りは大変苦労して登ったが、下りは大変雄大な素晴らしい下界の景観を眺めながらの下山で楽しく、らくな道のりであった。九時三十分には五合目の駐車場をバスで出て、川口湖畔のホテルで温泉に入り、富士登山での疲れを洗い流し、昼食懇親会を兼ね、雌岡山毎日登山会の参加者二十五名で楽しく歓談出来大変有意義な富士登山であった。帰りの観光バスの中で「ビンゴゲ

ームや私は何でしょう」等のお遊びをしながら楽しく帰途につき、三木市緑が丘駅前に二十時十五分に無事着くことが出来た。

富士登山を終えて強く感じたことは、退職後六十六歳の二〇〇三年九月から、太極拳と練功十八法を毎朝五時から四十分間、公園(雨の日は公民館の庇の下)で行っており「呼吸法・足腰の強化・バランス」等は大いにその効果が出たと痛感した。登山、下山後の翌日に身体の痛みや疲れなどまったく感じなかったことは太極拳の効果であり、お陰と思っている。

今回富士登山に挑戦したのは、詩人・サムエル・ウルマンの「魂のこもった青春」の詩の一節にある「年を重ねるだけで人は老いない。理想(夢)を失う時に初めて老いくる」と言う考えから「何事にも前向きに、積極的に取り組む」ことが大切との考えから、これからの余生をドッグイヤー(人の一年は犬の七年に当たる)の考えで自分なりに一年でも二年でも太極拳やゴルフ等を通じて健康とボケ防止を計って自分なりに有意義な人生だったと思えるようにありたいと考え、これから日々前向きに取り組んで行きたいと考えている。

登山準備で重要と思ったことは「登山靴・防寒用雨具・飲料水・食べ物・吸湿/速乾シャツ」等は十分に準備して行くことが最低必要なことだと感じた。

富士山はゴミの持ち帰りが徹底され

ていて、ゴミのない綺麗な美しい日本一の山であり、一度は是非登って見て貰いたいものと思う。

駆逐艦春雨の最期

梅友会副会長

校友会常任幹事

五十六年法(通) 永原 静男

「何度も来て頂いているが、一度この地で見えたいところがある。」八月二十七日投宿した鳥羽市相差町の宿の主人上村博邦氏のお誘いを受け、私共一行十二人は、町の最南端菅原半島八正道の断崖に建つ「春雨殉難記念碑」に案内された。

明治四十四年十一月二十三日夕刻この地方に襲来した海の男も恐れる大型のしけに、丁度この地を通過しようとした土佐沖での海軍演習に参加し、一旦横須賀に集結して佐世保に向う途上にあつた佐世保水雷団第十二駆逐隊の旗艦春雨が、綾波、浦波の僚艦と共にこのしけに巻き込まれたのである。



記念碑

司令大滝道助中佐は、直ちに編隊を解いて各艦に自由行動を命令し気象警戒海域からの退避を図ったのである。春雨の艦長児玉兼三郎大尉は、的矢湾に避難入港を決定したが夜に入ってしまったのは益々荒れ狂い、一寸先は真闇、レーダーのない時代で経験とカンによる慎重なる操艦も遂に後部を暗礁に乗り上げ、七十名の乗組員の一致した艦の恢復作業も及ばず沈没、大滝司令、児玉艦長以下四十四名艦と運命を共にし、武人として立派な最後を遂げたのである。

一方この遭難は翌早朝相差青年会に伝わり驚きと混乱のなかにも対策本部が設けられ、若手の猛者ばかりを選びすぐって特別救助隊を編成し「俺たちの目の前の海で沈んだ軍艦を見殺しにするようなことがどうして出来ようか、村の名譽にかけて救い出さねばならぬ」と急遽備付の救助船明徳丸に六尺樺一本の素肌を編入れの仕事着をはおった若者二十七名が八挺の掛声も勇ましく艦に近づいて行ったのである。しけはなお荒れ狂い、艦の五十米手前まで近づいたがそれよりは無理と勇者を集い荒れ狂う海に命づなをついて飛び込み、何回か失敗を重ねようやく艦によじ登り、厳寒の初冬の海でわずかに頭を出している煙突、マストにしがみついて助けを求めている兵を一人一人助け出したのである。

概略以上のような説明を上村氏から聞き、一行はしばし感嘆し、黙想にふけた次第である。

戦後六十年近くを過ぎて世相も大きく変わってきた。戦後間もない頃は「国のため命を受け、戦ってきた人」は、何か悪いことでもしてきたかの如く進んで史実を語ろうとする人は少なかった。

まして春雨は米内光政海軍大臣が揮毫されておられる如く、日露戦争に武功を立てた名譽ある艦であり、船もろとも海に果てたその壮烈さわまりない最後を当時の厳しかった世相が春雨の遭難は操艦の誤りに起因すると公表することが、帝国海軍の恥辱になるとして世に知らされなかったのではないかなと思えてならないのである。

喜びも悲しみも幾年月の白亜の安楽崎灯台を遠望できる絵のように美しい絶景を碑の丘より眺めて幾分の心の安らぎを覚え、四十四柱のご冥福をお祈りした次第である。

(相差史跡を探索会駆逐艦春雨殉難救助願末記 参照)

総 合 力

梅友会大阪府支部長

本 山 昌 宏

「神様ありがとう」レース後、目を真っ赤に腫らして喜び、脱いだシューズにそっと唇を寄せた。

アテネ五輪の十日目、女子マラソンで野口みずき選手が金メダルを手にした瞬間である。前回シドニー五輪の高

橋尚子に続く二大会連続の金!!

気温三十五度、強い日差し、風速十メートル、高低差二百メートルという過酷な条件下で、世界記録保持者、英国のボーラ・ラドクリフが途中棄権するというハプニングもあった。

野口選手は監督の指示どおり二十五キロから仕掛けた。小さな身体を目いっぱい使ってライバルを振り切り、グングンとリードを広げた。坂道ダッシュや林道で脚筋力を磨くなど、監督、コーチらスタッフそして走者が一つになつて計算を尽くし、作り上げたまさに《総合力》による快挙である。それも、マラソン発祥の地アテネで。

以上

明るく、平和で、 平等な世の中を

―運勢判断術をみんなで身につけよう―
(近三十二 一法)

大 林 和 彦

人には「運・不運」が一生を通じてつきまといつていて、少数とは言え幸運な一生を送る人や、不運な一生を送る人がいる。そこにはどうしてこんなに不平等なのかと思えるほどだ。しかし一生を通じて吉凶禍福を織りなす人生を大多数の者が過している。古代中国の政治権力者が独占していた占術は吉凶禍福をいかに乗り切っていくか

に腐心していた一種の技術であった。
私も最近、運勢判断術の独学を始め
たばかりだ。この術の主流は姓名、生
年月日、血液型、風水である。「当
るも八卦、当たらぬも八卦」というこ
とわざが昔からある。ある程度この術
が身についたら身近な者にあたってど
の程度確実性があるのか確認してみよ
うと思っている。

かつて私はいろんな業界の代表者と
対面し、報告書を作る仕事をしていた。
生年月日が判明している人について
は、あらかじめ一件二千元を支払って
占い師にお伺いをたててから出かけた
ものだ。ある時どんぴしゃの相手に出
くわしたことがあった。占い師が「最
近何かいいことがあったはずだ」との
ご託宣。即日その土建業者に会って
みると「今日、町役場で四級から三級業
者に昇格を申し渡された」とのこと。で、
請負額が大きくなるそうだ。にこにこ
顔だったのを十年以上たった今でも思
い出す。姓名と生年月日だけで占い師
には具体的にはともかく、そんなこと
がわかるのだと感じたものだ。

誰でも幸福な家庭を築きたいと考
えている。しかし配偶者の選択を誤った
り、子供が非行に走ったり、財運に恵
まれないなどの不運な家族が少数な
がらいる。そのような問題が大幅に減
れば世の中はもっと明るくなるだろう
し、平和や平等も実現不可能ではない
と思う。

そのような知識が一般に普及し、他
人に迷惑をかけることなく家族を幸運

に導くことを志して修得する人達に幾
らかでも手助けできれば幸いだと思っ
ている。結婚を志す人や、子供の出生
を控えている人などは一度学習してみ
ることをお勧めする。今私は初心者で
ある。

奄美風物詩

「慈愛の法学博士 泉二新熊先生」物語

校友会幹事

静 原 重 人

奄美大島は一二六六年琉球に入貢
し、以来三四〇年間琉球服属時代とな
り、大島統治の中心は笠利(笠利町)
におかれる。一六〇九年〜一八六七年
の間は薩摩藩の支配下におかれ、その
うち一六九九年間は大笠利と赤木名に大
島を統治するための仮屋がおかれる。

明治四十一年四月一日村役場は赤木
名におかれる。昭和三十六年一月一日
町制が施行され、昭和三十六年五月に
笠利町役場が赤木名に新庁舎が完成。

奄美の島々に人が住み始めたのは、
旧石器時代にあたる二万年ほど前であ
る。奄美の名が始めて我国の歴史書に
登場したのは西暦六五七年で日本書紀
に「海見島」と記されている。一四九
二年「尚巴志」が沖縄全土を統一し、

強大な王朝が誕生する。その後一六〇
九年(慶長十四年)薩摩藩が行政を行な
われるまで二六〇年間薩摩藩の統治下に
置かれ、名瀬市には代官所が置かれ藩
政時代から行政の中心地であり、太平
洋戦争の終戦後は本土と分離され、米
軍の直接統治であり、一九五三年(昭
和二十八年)島民の死闘ともいえる祖
国復帰に全力投球し、十二月二十五日
に念願の祖国復帰を果たす。

奄美大島は鹿児島南三八〇kmに位
置し、亜熱帯海洋性気候で四季を通じ
て温暖多湿で自然が美しく、年間を通
じて新鮮な魚介類の宝庫。産業として
は一三〇〇年の伝統をもつ本場大島紬
の生産地でもある。

奄美大島の人口は、龍郷町(男女)
六、〇八一名・笠利町七、〇二九名・
瀬戸内町一、三四七名・大和村二、
〇四七名・住用村一、八九四名・宇
検村二、一六六名・名瀬市四一、九二二
名・喜界町八、九七八名・天城町七、
三四七名・徳之島町二、九六〇名・
伊仙町八、〇二二名・知名町七、二八
六名・和泊町七、五八二名・与論町五、
九九三名

奄美大島全人口一三〇、六五四名
(二〇〇四年四月現在)

奄美大島の法学博士 泉二新熊(も
とじしんくま)先生は明治・大正・昭
和にかけて刑法学者で最高裁判所の長
官に就任し、明治九年(西暦一八七六
年)に鹿児島県大島郡龍郷町仲勝に生
まれる。(静原氏の集落)

泉二先生は仲勝にも簡易小学校があ
ったが、隣村の戸口小学校に合併せら
れ豊後竹田の出身、松岡辰五郎という
漢字の先生が仲勝に寓居(ぐうきよ)
せられてその家塾で親しく教養を受
け、素養の胚芽(はいが)を育む。十
二歳の時、父母の膝下を辞して首都名
瀬市に出て小学校を卒業し明治二十三
年十五歳の時、笈(きゅう)を負うて
東京に出る。戸口小学校時代泉二先生
は「世の中の出来事は何でも本に書い
てあるから読書ほど面白いことはな
い。」というほど本が好きで少年で、
暗記するまで何篇も何篇も繰返し
音読し、小学校に通う途すからも本を
開いていた。泉二先生が終生、師とし
て尊敬した松岡先生は当時大勝に在っ
た大島登記役場主張所の書記として、
泉二先生母堂の生家である大島家に下
宿して通勤余暇に仲勝の青少年を集め
漢籍の素読や習字を教える。下宿中に
病没し、共同墓地の一隅に葬(ほうむ)
られた。

泉二先生は十二歳の時名瀬の尋常小
学校に転校し、素晴らしき勉強相手に
出会う。後の北九州大学学長大島直治
先生である。大島先生は現在の鹿児島
県立大島高校へ昭和四十年代に裏山の
土地を寄付し現在高校のグラウンドとし
て後輩に使用されている。泉二先生は
松岡先生から日本外史、国史略、皇朝
史略・文章軌範のような難しい本を学
んでいた。

泉二先生は名瀬(約十二km)
徒歩で、交通機関はなく、週末(仲勝)

に家に帰って一週間の食糧を貰(もら)った。名瀬高等学校一年を修業し東京遊学を決意。叔父の大島代議士(龍郷町仲勝)出身をたより隠された能力を育てるため上京し、大島代議士(内務省)のところで下宿し勉強する。「男子志をたてて郷関を出づ学もし成らずんば死すとも帰らず」という古詩を読み東京遊学を決意する。明治三十一年九月東京帝国大学法科大学(現東京大学)独法科に入学した。法律家として天分が先生を法曹(ほうそう)・法学の道へと導いた。母徳千代の妹愛千代が奄美大島出身の明治の判事岡程良に嫁いでいる影響もあった。

泉二先生は明治三十四年六月帝国大学(現東京大学)在学中に和歌山県の人で平松知貞の令妹菊尾さんと結婚し、新生活に入る(二十六歳)平松氏は明治二十七年名瀬に教師として来た人である。

日本人には所謂(いわゆる)、島国根性があり他人の栄達、出世や功績を喜ばぬ風があり、相手を押し上げるよりは寧ろひきつりおとす傾向があり、わが同郷人の間にも同様の気風が見られるが、泉二先生に限っては微塵もそんな風はなく、友人が出世したり、何事かに成功した場合に我が事のように心から喜び又後進をよく指導して、成功出世させることに常に配慮した。この美しい精神・心こそが誠実な人柄・人格者で美点こそが、泉二先生が大成するに至った大きな理由だと確信する。母徳千代は思いやりのある誰に対

しても親切で、人に対して心温かいもてなしをする人で、庭にあったミカン類は遊びに来た子どものお土産になり、ミカンのないときは黒砂糖・おにぎりがかわりになる。

父母を敬い・親切にし故郷を大事してこそ人間は成功するということを日々母から教えられ泉二博士は先祖を粗末にする人は成功しない。脳裏に母から学ぶ。泉二新熊博士は先祖を大事にし、父母を敬う精神。

泉二先生は「人は志を尚ぶ、物質欲のみに目を眩(くら)ますべからず」人間としての勤めは努力にある。

己の業績に対し忠実にベストを尽くす清き努力にある。そして、よって得られたものは凡て神聖である。他人の所得を呪(のろ)うてはならない。己も努力によって彼の如くならんことに精進すべきである。

不正の手段によるもの、不義の富と栄達、凡(すべ)て汚れたものは皆罪である。

泉二先生の司法官の経歴

明治40年(1905)	32才	司法省参事官
明治41年(1906)	33才	日本刑論出版
明治42年(1907)	34才	弁護士試験委員
明治43年(1908)	35才	東京帝国大学法科大学講師
明治45年(1910)	37才	少年法の基礎確立
大正4年(1919)	40才	大審院判事

大正5年(1920) 41才 学位令第2条(博士会推薦)により法学博士の学位を受ける

大正9年(1924) 45才 東京帝国大学法学部講師

大正13年(1928) 49才 司法省行刑局長

昭和2年(1927) 52才 司法省刑事局長

昭和6年(1931) 56才 判事大審院部長

昭和11年(1936) 61才 検事総長

昭和14年(1939) 64才 大審院長

昭和17年(1942) 66才 枢密顧問官

昭和21年(1946) 71才 枢密顧問官を辞す弁護士登録・人権尊重に關し司法大臣に意見書提出

昭和十六年に司法官生活を終わり、日本全体が悪夢のような戦争の影響を受け、昭和十九年に長男勝廣氏病気で失い。昭和二十年には東京大空襲で自宅を消失し、昭和二十年六月には最愛の菊尾婦人(和歌山県出身)を疎開地で病氣亡くされる。司法警察は、検挙処分を濫用して、人身保護は無視され、じゅうりんされつつあるので、新憲法精神貫徹に精進すべきであると記され

ている。一九四七年(昭和二十二年)十月二十五日(七十二才)脳溢血で急逝。安らかな大往生であった。

泉二先生の郷土愛、大島郡人会(現奄美会)大島郡奨学会の創立。奄美文化協会名誉会長。後進の指導育成には人情味ある美談がいくつものこされている。

正三位 勲一等旭日大綬章を授与される。

私の故郷奄美大島龍郷町仲勝人口一〇〇人程の小集落で偉大な法学博士である。

他にも有名な大島信先生(龍郷町仲勝出身)奄美大島初期の代議士である。明治二十五年(明治三十一年)まで連任三回衆議院に当選し本土との海底無線敷設等の成果をあげ、奄美の為に貢献する。明治三十二年四十七才の若さで病死する。

金井正夫先生(龍郷町浦出身)は京都帝国大学卒業(大正八年現京都大学)昭和七年(昭和二十年)十二月まで衆議院議員十四年間当選し活躍され。昭和二十一年一月二十五日(昭和二十一年六月七日)まで第三十五代目と歌山県知事に就任し活躍される。至誠一貫を信条とし、奄美大島復興運動にご尽力され、勲一等瑞宝章を授与される。

実業界では元奥組(奥雅博社長)龍郷町仲勝出身 奄美大島本茶トンネル(浦上・仲勝)昭和六十年十一月二十五日完成する。奥組(和歌山県有田市)本社を持ち、全国六十九のトンネルを

掘り社会に貢献する奄美大島本茶パイ
バトンネルが開通したおかげで、仲
勝集落へ名瀬市へ自動車ですぐで行け
る。

奥社長は少年時代が浮世の荒波にも
まれ困苦欠乏に耐え抜いた人で強固な
意志と責任感の持ち主であり親分はだ
で抱擁力があり、細心で卓越した部下
掌握力の持ち主で部下を愛し、先輩同
胞を愛し、郷土を愛す。元和歌山県知
事飯谷志良氏の「志誠会」の会長でも
あった。

トンネルが完成したおかげで交通の
便による車や物資の輸送がこれから何
十年・何百年の間に奄美の産業・文化
に大きく貢献し、奥雅博氏の名も永久
に奄美大島の記憶から消えることはな
いだろう。(奥雅博社長は十年前に病
気で和歌山市で他界)

私の母静原ツユ(九十二歳) 龍郷町
仲勝集落人口(一〇〇人)程に興味と
して大島紬を現在織っている。

大正元年十二月二十五日に笠利町喜
瀬嶺に生まれる。十六歳から大島紬
を織り(女がら・花がら・龍郷柄)七
十七年間現在も日々健康で大島紬を織
っている。母が言うには、人間は誠実
な心をもって率直に生きることが大切
である。母が元気で過ごしていること
が何よりも嬉しい。

近畿大学はスポーツが熱心でアテネ
オリンピック九名出場し台湾から阪神
タイガース野球の林外野手を含む十名

がオリンピックに出場し銀メダル・銅
メダル獲得何とすばらしいことです。
これからの大学は二十年・四十年先
を見据え、「感動教育の実践」・「知
的価値の創造」・「実業世界の開拓」
を目指し、経営では、権限と責任を明
確にし、国際的な教育連携・学部教育
の改革大学院博士の課程の充実に向け
し、知識と経験を持った人を世に送り、
近畿大学のブランド力を高め、歴史と
伝統をつくり伝統は革新なりと(温故
知新)信じ近畿大学の益々の発展を祈

漢詩四題

校友会相談役

森 川 讓

春日喜友見訪

不圖無信我窺園

千里行程來叩門

知己相逢花下醉

歡情契濶共傾樽

圖らずも信無きに我が園を窺う、
千里行程 来りて門を叩く。
知己相い逢うて花下に酔う、
歡情契濶 共に樽を傾く。

願し。日本の大きな未来と夢を持って
創りだすことを信じる。

アテネオリンピック感動記 女子レ
スリングコーチ栄和人先生(日本体育
大学出) 奄美大島笠利町赤木名出身
(四十四才) 現中京女子大学レスリ
ング部監督三名オリンピック選手を育成
し二名金メダル一名銀メダル何と素晴
らしいことです。吉田選手が金メダル
を取った瞬間 栄和人コーチを肩車に
かつぎ祝福したこと。コーチと選手の

梅雨即時

旬餘宿雨晝猶昏

十畝插秧農事繁

咫尺小園梅子熟

老翁歸處杜鵑村

白餘の宿雨晝猶昏、
十畝の挿秧農事繁し。
咫尺の小園梅子熟す、
老翁歸る處杜鵑の村。

十四夜月

井邊蛩語感秋中

迎友今宵詩酒同

草木江山皆一色

定知三五更玲瓏

絆が美しい。テレビを観て感動する。

静原重人
奄美大島龍郷町仲勝出身
昭和四十八年近畿大学理工学部二部金
属工学科卒
近畿大学校友会幹事
近畿大学体育会ボクシング部OB会事
務局長・会計
大阪府アマチュアボクシング連盟常任
理事
堺市柔道協会評議員

井邊の蛩語秋中を感ず、
友を迎え今宵詩酒同じうす。
草木江山皆一色、
定めし知る三五は更に玲瓏ならえ。

歲晚書懷

年華逝水歲還空

回顧半生無寸功

一任崢嶸今夜盡

盆梅與我待春風

年華逝水 歲還空し、
回顧半生 寸功無し。
一任崢嶸 今夜盡き、
盆梅我と 春風を待つ。

俳句

わが人生に悔いなし

大阪市生野支部長

倉野 春 汀

聞き流す 流人の哀話 余寒なお
つづがなく 傘寿を祝う 梅真白
探梅の スタンプをおし 夫婦旅
山焼きの 奥に消えゆく 山河あり
おしゃべりの 集団すぎて 春の水
訪う人も あらず菜の花 寺まもる
紅梅か 誘われしまま 庭巡る
留守番の 老婆が一人 梅日和
桜散る 日曜画家に 人の群
散る花を さけて飛びたつ 鳩の群
朝桜 会話始まる 鳩の群

なつかしき 古都の茶店や 夕桜
五月雨に 濡れて明日香の 里歩く
雲の峰 ロマンの明日香 バスの旅
葉桜や 声出して読む 萬葉歌
マンシヨンの 主のごとし 鯉のぼり
阪神が 勝ち父の日 もりあがる
表札の 主となりし つばくらめ
しまなみに 汽笛響みて 梅雨に入る
小京都 竹原の町 梅雨にゆれ
峠越え 眼下のふるさと 夏の海
炎天や 幼なじみも 年老いぬ
ふるさとの 夏追いかけろ カメラかな
炎天や 影なきままの 船着き場
風鈴や わが人生に 悔いなし
あと書き

る。さらに合格者の中から短縮(二年)コースへの法学既修者認定試験が一月三十一日、二月一日の二日間あり、結果が九日に発表される。

教員は専任教員十四人(内実務家四人)、兼任教員七人、兼任教員三十人(内実務家十五人、派遣裁判官および検察官を含む)の計五十一人の陣容。ロースクール留学経験者、元検察官、元裁判官、企業顧問弁護士、アメリカ人弁護士等、国際的にも活躍するバラエティー豊かな人材を多く招聘している。

理工学部社会環境工学科が JABEE 認定される

— 私立大学の土木・建築系学科では初めての五年認定 —

平成十五年度 JABEE (日本技術者教育認定機構) 認定を申請していた理工学部社会環境工学科建設設計コースの教育プログラムに対して、この度、私立大学の土木・建築系学科では初めて五年認定された。

JABEE 認定とは、一九九九年に設立された日本技術者教育認定機構(JABEE)が、大学教育プログラムが社会や時代の要求、それに国際水準に適合する内容とレベルを有するプログラムであるかについて、共通基準と分野別基準を設定して審査し、この両基準を達成したプログラムに対して認定するものである。

二十一世紀は新しい技術がどんどん開発されると共にそれらを適正に教育に反映していく必要があり、また外国

学園近況

法科大学院設置認可
十六年度開設

多彩な教授陣 充実の施設・設備

本学法科大学院(定員六十名)が昨年十一月二十七日、文部科学省から認可され、平成十六年度から開設された。公平性、開放性、多様性を旨とし、

多様なバックグラウンドを持ち、良き法曹となる資質を有する学生を広く受け入れることをアドミッションポリシーとして、十二月一日から八日まで出願を受け付け、志願者は、六百四十一人だった。

第一次の書類選考の結果発表が二十日に行われ、小論文・グループ面接の第二次選考が一月十七日、標準(三年)コースの合格発表が二十六日にある。

授業料低く設定 修学者に配慮

授業料等については、多様な人材を広く受け入れることを最重視し、全国の私立大学の中でもかなり低く設定(入学費二十万円、授業料百二十万円)。

また、奨学金に関しても成績優秀者に授業料・全額免除五名、半額免除十二名の「特待生制度」を設けている。この人数は募集定員の三割弱の比率となっており、この他、今後も経済的な理由によって「修学の道」が閉ざされないよう、様々な形で検討していく。

あるいは国内において外国企業をパートナーとして仕事をする機会が増えると考えられている。その際には互いの技術者の倫理観と能力を国際的な基準により保証する必要がある。

アメリカでは ABEET (米国工学技術認定機構) が大学などの技術者教育プログラムを保証しており、またカナダ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、アイルランド、香港、南アフリカの七カ国も個別の審査をしており、アメリカと上記七カ国の計八カ国は技術者教育の国際的な同等性を WA (ワシントン・アコード) という協定により互いに承認している。日本は現在 WA の暫定資格調印団体として認められており、いずれ本審査で承認されることが期待されている。

アメリカの ABEET に対応するのが日本の JABEE である。本学科は、JABEE が設立された一九九九年の翌年に、他大学に先駆けて JABEE 審査の試行を受けたが、その後、この教育プログラムを更に充実させて今回の本審査に臨んだ。土木および土木関連分野の JABEE 認定校は、関西の国公立大学では近畿大学(五年認定)と立命館大学(二年認定)のみである。認定期間が終了するとその翌年に再度審査して認定される必要がある。

認定された本校の建設設計コースの卒業生が主に活躍する建設分野では、

「技術士」は最も評価の高い国家資格だが、本年三月の官報によれば、JABEE 認定プログラムを修了した卒業生は、技術士一次試験の合格者と同等であると報告されている。したがって、JABEE 認定プログラムを修了した卒業生には修習技術士が与えられ、申請手続きをすれば技術士補の資格を無条件に手に入れることができる。それゆえ、JABEE 認定は学生にとって大変重要なものであると言える。

薬学部・農学部・ 生物理工学部

みかんで学・農連携(和歌山)

薬学部・農学部・生物理工学部の三学部が共同で、本学湯浅農場(和歌山県湯浅町)内に「かんきつ類薬用研究開発プロジェクトチーム」をつくりこのほど、大学発ベンチャー企業の具体化にメドを立てた。同グループはみかん農家と共同で、みかんの成分を利用した新しいサプリメント(栄養補助食品)などの開発をするなど、従来にならぬ学・農連携という、新しい形の取り組みとして注目をあつめている。

和歌山はかつて日本を代表するみかん産地であったが、ここ数年地盤沈下が著しい。低迷する和歌山みかんの復

従来、入学試験の難易度のみが大学評価の基準のように思われていたが、大学入学後の教育の質と量を具体的な基準で審査・認定し、さらに認定されたプログラムの修了生に資格が与えられるという点から、今後の大学評価は JABEE 認定を抜きには考えられない状況になっており、理工学部では社会環境工学科に続き、本年度は機械工学科と応用化学科が JABEE 申請している。

権を目指して本学と地域が連携し、みかんの新たな用途の開発を目指す。

薬学部の久保道徳教授によると、食用みかんには、花粉症、アトピーなどのアレルギーに効果を発揮する成分が含まれており、その中の「ヘスペリジン」に、症状を薬にする働きのあることがわかっていく。

薬学部を中心とするグループは、みかんのサプリメントの試作品もすでに完成させている。

有効成分は、成熟していないある限定した時期の青い果実に多く含まれるという特性があり、成熟前に摘果されていた青みかんの有効な利用法としても注目されている。

また、湯浅農場と農学部、生物理工学部のグループは、湯浅農場が有する約百四十種に上る柑橘類の原木の交配や、日本にまだない品種の輸入や、研究、遺伝子技術などを駆使することで、より多くの有効成分を含む新品種の開

発や栽培法などの研究に取り組む。今後は地元みかん農家や製薬会社とも共同で研究を進め、大学発ベンチャーを視野に入れながら、製品の改良やコストの削減、ノウハウの蓄積などをおこない、材料調達から製造、流通まで一貫した体制を整えていく。

二十一世紀 COE プログラム

二年連続選定記念

シンポジウム

盛大に開催 一、八〇〇人の参加者

本学の二十一世紀 COE プログラム二年連続選定を記念したシンポジウムが十一月二十二日午前十一時から十一月ホールであり、千八百人の参加者が集まった。

シンポジウム・オープニングは、勇壮な和太鼓の音に合わせ、緑色のレーザービームが会場全体に照らし出され、クロマグロが泳ぐ様子や先端技術総合研究所がクロロンで蘇らせようとしているマンモス、ハウレンソウブタが次々にレーザーで映し出されると、会場から歓声と拍手が沸き起こった。その後、前回のシンポジウムに続いて中島みゆきさんの曲、今回は「時代」をバックに、クロマグロ完全養殖までの道程などを描いたビデオが放映された。

野田起一郎学長のあいさつの後、入谷明先端技術総合研究所長・教授が基調講演の野依良治先生（理化学研究所理事長）を紹介。野依先生は「研究は瑞々しく単純明快に」と題し、化学のおもしろさ、自身の生い立ち、ノーベル賞受賞の対象となった「不斉合成反応の確立」への経緯を話された。講演後は学生からの質問にも、気さくに答えていただいた。

その後、「クロマグロ等の魚類養殖産業支援型研究拠点」の概要と研究計画と題して、拠点リーダー・水産研究所長、大学院農学研究科水産学専攻の熊井英水教授が講演。続いて、「食資源動物分子工学研究拠点」における発生源動物分子工学研究の展開をテーマに、拠点メンバーの大学院生物理工学研究科生物工学専攻・先端技術総合研究所の細井美彦教授が、研究内容を述べた。

ホールロビーでは、二〇〇三年度に選定された水産研究所のニュース映像の放映や歴史と業績を振り返るパネル、水産研究所が生み出した交雑魚キンダイ（イシダイ×イシガキダイ）、ブリヒラ（ブリ×ヒラマサ）、近年養殖を始めたクエ、アユ、アマゴなどの水槽、串本町大島の実験場から運ばれた養殖クロマグロ、二〇〇二年度の選定を受けた先端技術総合研究所や生物理工学部の研究紹介のパネルなどが展示され、来場者の関心を集めた。

基調講演のノーベル化学賞受賞者・野依良治先生も開会前に養殖クロマグロをご覧になり、その大きさに驚かれ

ていた。

また、講演の合間には、本学の著名な卒業生からのお祝いビデオメッセージも放映された。今回のシンポジウムのキャッチコピーとなった「世界が舞台」の一言と「COE選定おめでとうございませう」など、母校を思う温かく、心強い言葉が聞かれた。

メッセージをいただいた卒業生は、俳優・元プロボクサーの赤井英和さん（昭和五十九年商経卒）、元近鉄バファローズ投手・朝日放送野球解説者の佐々木修さん（昭和六〇年工卒）、大

平成十六年度入学式

八、三〇〇人が学生生活

スタート

レーザーショーで盛大に開催

平成十六年度の入学式が四月七日、大学本部の記念会館で行われた。本部キャンパスの六学部と農学部、医学部、短期大学部、通信教育部、大学院、そして今春開設された法科大学院の入学生と保護者ら約一万人が出席した。本部以外のキャンパスでは、生物理工学部は四月八日、工学部は四月九日に行

相模元大関朝潮の高砂親方（昭和五二年商経卒）、人間国宝で文楽の竹本住大夫さん（昭和一九年前身の大阪専門学校卒）、シドニー五輪水泳銅メダリストの中尾美樹さん（平成一三年商経卒・本学就職部職員）、読売巨人軍遊撃手の二岡智宏さん（平成一一年商経卒）、元準ミスワールド日本代表で弁護士・タレントの菱垣理英さん（平成八年商経卒）、元南海ホークス三塁手・九州朝日放送野球解説者の藤原満さん（昭和四四年商経卒）の八人（五十音順）。



大学本部キャンパスの入学式

われた。従来の九州工学部が改組され、今春から新たにスタートした産業理工学部は四月五日に行われた。あわせて大学全体で約八千三百人が、桜咲くキャンパスで新しい学生生活をスタートさせた。

大学本部キャンパスの入学式は、従来のものから内容が大きく変化した。開式に先立ったオープニングでレーザー光線が駆使された。また式場内に設置された大型モニターにキャンパス風景の映像を映し出すなどして、入学式を盛り上げた。

レーザーショーに続いて、体育会・文化会・各種団体計百三十六団体の代表者による部旗行進が行われた。舞台前に設置された大きな紗幕が振り落とされ、部旗を持った百三十六人の学生が、一斉に現れた瞬間、その壮観な光景に式場からは拍手が湧き起こった。司会は、近畿大学放送局員が担当した。

南香代さんによる君が代独唱の後、初代総長世耕弘一先生についてのビデオ「世耕弘一先生の魂にふれる」が上映された。続いて畑博行学長が式辞を述べた。

東大阪市長・松見正宣さんによる来賓祝辞、続く学部長等紹介の後、各界で活躍する著名な本学在学・卒業生からの新入生への「応援メッセージ」ビデオが上映された。

在学生を代表して、校友会連合会中央執行委員会委員長の松本敬さん（文芸学部四年）が「どんなことにも意欲を持って、恐れず挑戦していくことにより、自分の可能性を最大限に活かせることができるでしょう」と歓迎の辞を述べた。

これを受け、新入生を代表して、濱田衣美さん（薬学部）が「本学の建学の精神を学び、良き伝統を尊び、学生

の本分に徹して、新しい世代の担い手となるため、精一杯の努力を傾けることを誓います」と宣誓した。

新入生宣誓後、吹奏楽部の演奏とグリークラブのリードによる校歌斉唱を行い、閉式となった。

入学式終了後、キャンパス内で文化会団体が公演、展示を行う中、記念撮影を行う姿があちこちで見かけられた。

当日出席できなかった保護者をはじめ関係者の方のため、入学式の様子はインターネットでライブ中継された。

アテネオリンピック 本学が大快挙

アテネオリンピックに出場した近畿大学勢十選手は、日本の代表として世界最高の大舞台で輝いた。

競泳男子二百メートルバタフライに出場した本学職員の山本貴司選手（平成十三年商経卒・水上競技部コーチ）は三大大会目となったオリンピックで、夢にまで見た自身初、大学としても初の銀メダルを獲得。中西悠子選手（本学職員・十六年商経卒・水上競技部コーチ）も女子二百メートルバタフライでタッチの差で三位に食い込む勝負強さを見せ、同種目日本人初の銅メダルを手にした。



凱旋報告会での亀岡会長のあいさつ

また、四×百メートル男子メドレーリレーに出場した第三泳者・バタフライ山本選手、第四泳者・自由形奥村幸大選手（法学部三年）は、背泳ぎの森田智己選手（日本大）、平泳ぎの北島康介選手（日本体育大）からのリレーを引き継ぎ三位。四四年ぶりのメダルを日本チームにもたらし、今大会大活躍の競泳最終種目もメダルで飾った。昨年の世界水泳では準決勝九位だった寺川綾選手（法二年）は女子二百メートル背泳ぎで決勝に進み、八位に入賞した。

一方、代表六人（男女各三人）中五人が近畿大学勢で占めたアーチエリ。男子の古川高晴選手（経営学部二年）は一回戦を突破したが、強豪韓国選手に二回戦で敗れた。濱野祐二選手（十五年商経卒・デオデオ）は、個人戦一回戦敗退となったが、古川選手らとともに出場した男子団体では一回戦の強豪フランス戦で二五四点のチーム日本新記録に貢献。ベスト8に進んだが、準々決勝戦のウクライナ戦に敗れた。

昨年の世界選手権で銀メダルを獲得した河崎由加里選手（十一年法卒・デオデオ）、川内紗代子選手（十三年商経卒・ミキハウス）、松下沙耶未選手（十六年法卒・同）の女子団体は、早朝からの試合にリズムが出ず、一回戦敗退。川内、松下両選手は個人戦一回戦を突破したが、二回戦で敗れた。河崎選手は一回戦で敗退した。

野球（台湾代表）の林威助選手（十五年商経卒・阪神タイガース）は、一次リーグのオランダ戦で五打数三安打の活躍を見せたが、チームは三勝四敗で決勝リーグには進めず、五位に終わった。

西門前書店 「梅の木」オープン！

大学本部キャンパス西門前に建設中だった書店「近畿大学ブックセンター梅の木」が十月二十九日、オープンした。

正午の開店を前に店舗前で午前十一時から、世耕弘昭理事長、紀伊國屋書店中正弘大阪営業部取締役、建物の基

本デザインをした森田絵美さん（書店デザインコンペ優秀受賞者、平成十五年理工学部建築学科卒）ら関係者五十人が出席し、開店セレモニーを行った。

世耕理事長は「紀伊國屋書店の全面協力で大学の前に書店ができた。文化の発信地となつてほしい」と、あいさつ。中江取締役は「このブックセンターは梅田本店と直結している。しっかりと研修を積んだスタッフも送り込んだ。読書をする楽しみを若い世代に提供できるようにがんばりたい」と述べた。その後、関係者がテープカットし、整然と書籍が並べられた真新しい店内が披露された。

一階は、雑誌や実用書、期間ごとに様々な本を推薦するイベントコーナー、コミック類、二階には本学の学部構成に応じた専門書が並ぶ。また、証明写真、DPEの「スタジオ・カメラポート」があり、本学の学生、教職員はサイズを問わず四枚セット五百円で撮影する。

書籍、雑誌は学生証の提示で一割引。教職員はカウンターで所定の手続きをすれば、メンバーズカードが発行され、カードの提示で同様の割引が受けられる。職員は名札の提示でも可。

また、紀伊國屋書店のホームページからも注文でき、梅田本店に在庫があれば、最短で翌日に本がブックセンターに届く。ホームページは
<http://bookweb.kinokuniya.co.jp/index.html>からアクセス。

就職部から 校友の皆様へ

近畿大学就職部長

北 爪 佐知子

近畿大学校友の皆様におかれましては、ますますご活躍のことと存じ上げる次第でございます。

平素は就職に関するご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、最近の雇用情勢についてはご存知の通り、新聞などのマスコミでは景気が徐々に回復しているとの報道が多く見受けられるようになりました。また、求人数を増やされている企業が多くなっているということで、本学でも求人総数が急増しております。本学の就職状況は毎年約九割以上が内定を獲得しており、厳しい雇用環境においても安定した就職率を保っております。

バブル経済崩壊後、暗く長いトンネルの中にいた日本経済も漸く出口を見いだしたところでありますが、半面フリーターの増加が大きな社会問題となっております。

本学では入学式当日に新入生及び保護者の方に就職に関するメッセージを送り、保護者の皆様からも就職についてご指導やご協力をお願いしております。

また、低学年からのキャリア教育に力を入れ、一年生の「基礎ゼミ」で就職部から講演をし、二年生には年二回のガイダンスを実施しております。

在学中に資格取得のため、宅建や簿記、基本情報処理技術者、TOEICなどの課外講座を開講し、即戦力となるべく人材の育成を行っております。

平成九年度に就職協定が廃止されてからは年々企業の採用活動が早まり、四年生になる前に就職が決まることもあり、早期決戦のため困惑する学生もでてきております。しかし、平成十六年度は日本経済団体連合会が「新規卒者の採用選考に関する企業の倫理憲章」を発表し、採用選考活動早期開始の自粛を行い、早期化に大きな歯止めがかかりました。

インターネットの普及に伴い、就職に関する情報はほとんど就職情報サイトから入手している学生が多く、情報の偏りが生じていました。

企業から本学に対し求人票や企業セミナーの案内などお送りいただいたものにつきましては、従来通り掲示や企業ファイルに綴じており閲覧できますが、今年から新システムを導入し、学生はインターネットを通じて、自宅からでも検索できるようになり情報の偏りが解消されました。

近畿大学の就職支援体制は前述の低学年からの指導体制の充実と就職情報の提供とともに個別指導に力を入れており、外部からの評価も高く、朝日新聞社発行の「大学ランキング二〇〇五

年度版」では近畿大学は「就職支援に熱心な大学」として全国二位に選ばれております。また、「学生が就職活動に積極的な大学」として日本経済新聞社の大学イメージ調査(二〇〇三年十一月)では近畿大学の企業から四位、首都圏の企業では六位にランキングされております。

最近、大学に入学しても就職できないかのような記事が新聞や雑誌などで取り上げられておりますが、実態は必ずしもそうではなく卒業後の進路が多様化してきているためです。

特に理系学生の大学院への進学が増加傾向にあります。そして、雇用形態の多様化に伴い正社員としての採用以外に契約社員や派遣社員として採用されている場合が多くなっております。

フリーターの増加は社会問題となり、これから就職活動を控えているご子女をお持ちの校友の皆様方はご心配

のことと存じますが、本学ではインターシップ制度を積極的に導入し、職業意識を醸成させております。就職相談においては、個々の適性や希望に応じた個別指導に注力しているため、就職部を利用いただければ、安心して就職先を見つけることができると確信しております。

また、校友三十八万人が日本全国で活躍されておられるため、ほとんどの企業に先輩が存在しており大学として力強い存在となっております。また、別表にある「出身大学別の社長数ランキング」では全国八位となっております。

今後とも母校近畿大学の発展のため、また、皆様の後輩のために母校の皆様の温かいご支援、ご鞭撻をいただきたく、よろしくお願ひ申し上げます。

出身大学別の社長数ランキング20

順位	出身大学	人数
1	日本大学	29,087
2	慶應義塾大学	16,808
3	早稲田大学	16,547
4	明治大学	13,784
5	中央大学	12,885
6	法政大学	9,830
7	同志社大学	7,529
8	近畿大学	6,335
9	関西大学	6,141
10	立教大学	5,700
11	立命館大学	5,130
12	関西学院大学	4,822
13	東海大学	4,708
14	東京大学	4,508
15	青山学院大学	4,266
16	専修大学	4,118
17	福岡大学	3,193
18	甲南大学	3,162
19	東洋大学	3,025
20	京都大学	2,866

(資料出所:株式会社帝国データバンク、2004年1月発表)

全国経済産業リーダーズクラブによる
各地区新卒生歓迎会開催 ご案内

校友の中には、全国の経済産業界で、大企業をはじめ、多くの企業で活躍し、日本の経済産業界をリードしている著名な先輩方が多くおられます。そのような先輩方を中心に企業のお互いの連絡は勿論のこと、大学との連携も目指し、全国的な組織で、校友会の1支部として平成13年に設立されたのが全国経済産業リーダーズクラブです。本クラブは、産・学、産・産の共同研究の推進、大学の研究者の技術活用、フォーラムや研究会などを開催し、企業と企業、企業と母校との幅広い交流の場をつくり、さらには学生の就職、学生の募集などあらゆる面で母校に協力しようとするものであります。

現在、久保田義秀支部長（第一化学薬品）のもと、関東、東海、関西、中国、九州地区の各地区別に役員を選任して、全国的な活動を展開しつつあります。

今度、各地区に拠点をもち活躍しておられます経済産業リーダーズクラブの方々と、その地区に就職あるいは在住しています新卒生の皆様方の歓迎会を開催し、親しく懇談するよう準備しましたので、是非ご出席下さいますようご案内申し上げます。

記

九州地区： 平成16年11月5日（金）

受付 18:00 開始 18:30

ソラリア西鉄ホテル TEL 092-752-5555

福岡市中央区天神2-2-43

・申込〆切日 10月25日（月）

中国地区： 平成16年11月20日（土）

受付 11:00 開始 12:00

ホテルニューヒロデン TEL 082-263-3456

広島市南区大須賀町14-9

・申込〆切日 11月10日（水）

東海地区： 平成16年12月4日（土）

受付 10:00 開始 11:00

名古屋観光ホテル TEL 052-231-7711

名古屋市中区錦1-19-30

・申込〆切日 11月24日（水）

関東地区： 平成16年12月11日（土）

受付 14:00 開始 15:00

アルカディア市ヶ谷(私学会館) TEL 03-3261-9921

東京都千代田区九段北4-2-25

・申込〆切日 12月1日（水）

お問い合わせ・参加申込先（FAX又はメールでお願いします）

近畿大学校友会 TEL 06-6723-2314

FAX 06-6724-7430

Eメール kindaikk@star.odn.ne.jp

近 畿 大 学 学 生 戦 績 (順 不 同)

【体育会合気道部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15.10.26	第34回全日本学生合気道競技大会 〈演武〉男子対徒手 〈演武〉女子対徒手	3 位	福 家 隆 彰
		3 位	竹 口 貴 子 森 友 香
15.11.23	第28回関西合気道競技大会 〈演武〉初級の部	2 位	北 野 大 輔 加 藤 悟
16. 6.13	第24回関西学生合気道競技大会 〈乱取り〉男子団体戦 〈乱取り〉男子個人戦 〈演武〉男子対武器 〈演武〉男子対徒手 〈演武〉女子対武器	2 位	池 田 和 正 辻 直 利 山 田 允 平 松 孝 高 津 啓 暢 澤 田 幸 輝 池 田 和 正 山 田 啓 允 荒 川 雄 磨 辻 直 利 開 友 美 森 友 香
		3 位	
		1 位	
		2 位	
		2 位	

【体育会アメリカンフットボール部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15. 9. 6～11.29	関西学生アメリカンフットボール秋季リーグ	3 位	

【体育会空手道部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15.10. 5	第46回全関西大学空手道選手権大会 男子団体組手 女子団体組手	1 位	男 子 団 体
		1 位	女 子 団 体
15.10.26～10.28	第58回国民体育大会 男子組手中量級	3 位	松 久 功
15.11.24	第47回全日本大学空手道選手権大会 男子団体組手 女子団体組手	1 位	男 子 団 体
		1 位	女 子 団 体
15.12.14	第31回全日本空手道選手権大会 男子組手	3 位	松 久 功
16. 4.29	第38回全関西学生空手道選手権大会 男子統合・男子組手+65kg級 男子組手-73kg級 男子組手+73kg級 女子統合・女子組手-55kg級 女子組手-55kg級 女子組手-60kg級 女子型	1 位	福 田 浄 円
		1 位	青 柳 隼 康
		2 位	金 丸 卓 磨
		1 位	中 村 要 平
		1 位	片 山 晴 香
		3 位	江 藤 麻 里 子
		1 位	上 田 春 花
		1 位	山 口 綾 野
16. 5. 9	第42回西日本大学空手道選手権大会 男子団体組手 女子団体組手	1 位	男 子 団 体
		2 位	女 子 団 体
16. 6. 6	第48回全日本学生空手道選手権大会 女子組手 男子組手	1 位	片 山 晴 香
		2 位	青 柳 隼 康
16. 7. 5～ 7.14	第4回世界学生空手道選手権大会 男子団体組手	1 位	男 子 団 体

【体育会弓道部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15.11.28~11.30	第49回男子東西学生弓道選抜対抗試合 近的団体	準優勝	是 川 敬 介
15.11.28~11.30	第27回女子東西学生弓道選抜対抗試合 近的団体	優勝	玉 井 奈 緒
16. 1.18	第52回三十三間堂大の全国大会 遠的個人	3 位	春 田 絵 里 子
16. 5. 1	第53回住吉大社全国弓道遠の大会 遠的団体	優勝	男 子 団 体
16. 5.22~ 5.23	第48回関西学生弓道選手権大会 近的団体 近的個人	優勝	男 子 団 体
		優勝	武 田 憲 二
16. 8. 9~ 8.12	第35回全日本学生弓道選手権遠の大会 遠的個人	2 位	辻 研 洋

【体育会剣道部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15. 9.21	第51回関西学生剣道優勝大会 剣道(7人制団体)	1 位	男 子 団 体
16. 5. 9	第52回関西学生剣道選手権大会 剣道(個人)	3 位	西 山 弘 一
16. 5.29~ 5.30	第49回西日本学生剣道大会 剣道(7人制団体)	3 位	男 子 団 体

【体育会硬式庭球部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15. 9.11~ 9.20	関西大学対抗テニスリーグ戦 男子団体	2 位	団 体
15.10.18~10.25	全日本学生王座決定試合 男子団体	1 位	団 体
15.11. 5~11.12	関西学生新進テニストーナメント シングルス	1 位	田 中 祐 也
15.12.15~12.22	全日本学生室内テニストーナメント シングルス	1 位	權 胎 亨
16. 6. 1~ 6. 7	関西学生春季テニストーナメント シングルス	1 位	末 田 英
16. 8. 6~ 8.15	全日本学生テニストーナメント シングルス ダブルス	2 位	權 胎 亨
		1 位	末 田 英
			權 胎 亨

【体育会硬式野球部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15. 9. 6~10.28	関西学生野球秋季リーグ戦	3 位	
16. 4. 3~ 5.24	関西学生野球春季リーグ戦	3 位	

【体育会少林寺拳法部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15.10.12~10.19	少林寺拳法全日本学生大会 運用法男子二段の部	1 位	小 野 雄 介
		2 位	池 内 暢 行

【体育会自動車部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16. 4.23	全関西学生ジムカーナ選手権 ジムカーナ団体 ジムカーナ個人	2 位	団 体
		2 位	岩 田 周 士

【体育会柔道部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16. 5.23	関西学生柔道優勝大会 団体	3 位	団 体
16. 8.28	関西学生柔道体重別団体優勝大会 団体	3 位	団 体
16. 8.29	関西学生柔道体重別選手権大会 個人-73kg級 個人-81kg級 個人+100kg級 個人+100kg級	1 位	河 野 勇 人
		3 位	田 上 賢 三
		3 位	大 町 奨 志
		3 位	尾 見 谷 竜 一

【体育会水上競技部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16. 7.30～ 8. 1	関西学生選手権水泳競技大会(78)	50m自由形	1 位 山 本 晴 基
		100m背泳ぎ 男子	1 位 園 田 直 哉
		200m背泳ぎ 男子	1 位 園 田 直 哉
		100m自由形 男子	2 位 中 尾 達 也
		200m自由形 男子	3 位 川 口 敦 哉
		200m自由形 女子	1 位 越 智 麻 土 香
		400m自由形 男子	2 位 山 辺 寿 崇
		400m自由形 女子	1 位 岩 井 佳 苗
			2 位 越 智 麻 土 香
		800m自由形 女子	1 位 岩 井 佳 苗
		1,500m自由形 男子	2 位 山 辺 寿 崇
			3 位 戸 田 勇 輔
		100m平泳ぎ 男子	3 位 吉 田 遼 太
		200m平泳ぎ 男子	2 位 吉 田 遼 太
		200m平泳ぎ 女子	3 位 徳 田 敦 子
		100mバタフライ 男子	1 位 堤 崇 志
		200mバタフライ 女子	1 位 坂 井 恭 子
		200m個人メドレー	1 位 渡 辺 元 太
			2 位 白 木 翔 巨
			2 位 茶 木 将 基
		400mメドレーリレー 男子	1 位 山 本 晴 基
		400mフリーリレー 男子	2 位 山 本 晴 基
		400mフリーリレー 女子	2 位 山 本 愛 実
		800mフリーリレー 男子	1 位 山 本 晴 基
15. 9. 5～ 9. 7	日本学生選手権水泳競技大会(79)	200m自由形 男子	1 位 奥 村 幸 大
		400m自由形 女子	2 位 越 智 麻 土 香
		800m自由形 女子	2 位 越 智 麻 土 香
		100m背泳ぎ 女子	3 位 寺 川 綾
		200m背泳ぎ 男子	3 位 園 田 直 哉
		200m背泳ぎ 女子	3 位 寺 川 綾
16. 8.14～ 8.21	アテネオリンピック	200m背泳ぎ	8 位 寺 川 綾
		400mメドレーリレー 男子(4泳者)	3 位 奥 村 幸 大

【体育会競技スキー部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16. 3. 7～ 3.11	全関西学生スキー選手権大会	コンバインド	優勝 中 島 甫
		クロスカントリー15kmフリー	優勝 吉 田 岳
		スペシャルジャンプ	優勝 佐 藤 和 也
		アルペンGS	優勝 西 澤 寛 樹

【体育会相撲部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15. 9. 7	第28回西日本学生相撲個人体重別選手権大会 個人100kg未満級	1位	老 月 賢 佑
		2位	井 上 晋 哉
		3位	野 村 浩 貴
		3位	増 田 龍 二
	115kg未満級	1位	杉 田 喜 章
	135kg未満級	1位	吐 合 明 文
	135kg以上級	1位	上 林 義 之
		2位	鈴 木 悦 朗
		3位	江 良 司
	無差別級	1位	伊 藤 聡
		2位	奥 谷 猛
		3位	鈴 木 千 春
15. 9. 14	第51回全国選抜大学・実業団相撲刈谷大会 団体	3位	団 体
15.10. 5	第28回全国学生相撲個人体重別選手権大会 100kg未満級	1位	増 田 龍 二
		2位	井 上 晋 哉
		3位	老 月 賢 佑
	115kg未満級	2位	杉 田 喜 章
15.11. 1～11. 2	第81回全国学生相撲選手権大会 団体	1位	団 体
	個人	1位	上 林 義 之
		2位	伊 藤 聡
15.11.16	第52回全国大学選抜相撲高知大会 団体	3位	団 体
	個人	1位	上 林 義 之
16. 4. 29	第21回全日本大学選抜相撲宇和島大会 団体	2位	団 体
16. 5. 9	第64回西日本選抜学生相撲大会 団体	1位	団 体
	個人	1位	増 田 龍 二
		3位	吐 合 明 文
16. 5. 23	第43回全国選抜大学・実業団対抗相撲和歌山大会 個人	3位	吐 合 明 文
16. 6. 6	第78回西日本学生相撲選手権大会 団体	2位	団 体
	個人	1位	吐 合 明 文
		3位	奥 谷 猛
16. 8. 14	第22回全国選抜社会人学生相撲弘前大会 団体	3位	団 体
	個人	2位	奥 谷 猛
16. 8. 16	第39回全日本大学選抜相撲十和田大会 団体	2位	団 体
	個人	3位	吐 合 明 文

【体育会トライアスロン部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16. 3. 7	第1回カーフマンジャパンチャンピオンシップ近畿予選 デュアスロン	3位	中 山 恵 梨 奈
16. 5. 22～ 5. 23	第18回潮来トライアスロン全国大会 一般女子総合	1位	中 山 恵 梨 奈
	年代別女子	1位	中 山 恵 梨 奈

【体育会馬術部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16. 5. 2～ 5. 5	春季全関西学生馬術大会 Lクラス障害飛越競技B	優勝	中 村 亮 太
		3位	波 田 昌 宏

【体育会バレーボール部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16. 6.24～ 6.27	平成16年度第30回西日本バレーボール大学男子選手権大会	2 位	男 子 団 体
16. 8.19～ 8.21	平成16年度関西大学バレーボール大学男女選手権大会	1 位	男 子 団 体

【体育会フィギュアスケート部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15.11.26～11.28	関西学生氷上競技選手権大会 A級女子	1 位	大 庭 佳 子

【体育会フェンシング部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15.10. 8～10.12	関西学生フェンシング選手権 個人サーブル	2 位	高 橋 宏 和
		3 位	石 原 顕 行
		3 位	上 林 知 行
16. 1. 9～ 1.10	JOCジュニアオリンピックカップ 個人フルーレ	2 位	小 野 隆 義
16. 5. 7～ 5. 9	関西学生フェンシングリーグ戦 サーブル(団体)	2 位	石 原 顕 行
			下 野 拓 哉
			福 原 雅 人
16. 5.21～ 5.23	関西学生フェンシングリーグ戦 エペ(団体)	3 位	矢 郷 直 樹
			松 尾 仁 哉
			上 林 知 行
			藤 田 雄 一
			藤 原 浩 充

【体育会ボクシング部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15. 9.13～ 9.14	全日本選手権大会近畿ブロック予選	1 位	仲 和 弘
		1 位	李 宗 樹
		1 位	窪 田 茂 仁
		2 位	国 重 憲 司
		2 位	宋 世 訓
16. 8.20～ 8.22	第59回国民体育大会近畿ブロック大会	1 位	武 市 瞬
		3 位	佐 原 通 祐
		3 位	李 宋 樹
		3 位	窪 田 茂 仁
		3 位	宋 世 訓

【体育会ボート部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15.10.30～11. 2	関西学生秋季リーグ戦 シングルスカル 男子舵付きフォア 団体	1 位	草 薙 久 美 子
		2 位	団 体

【体育会洋弓部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15. 2.22	第5回全関西室内アーチェリー大会	1 位 2 位 2 位	守 屋 龍 一 谷 口 将 之 阿 太 地 和 美
15. 2.24～ 2.25	第4回全日本学生室内アーチェリー個人選手権大会	1 位 2 位 3 位	西 浦 望 美 赤 坂 清 太 高 木 裕 太
15. 9. 7	第37回全関西アーチェリー選手権大会	1 位	谷 口 将 之
15. 9.21	第42回全日本学生アーチェリー個人選手権大会	1 位	守 屋 龍 一
15. 9.22	第13回A.J.S.A.F.CUP 団体男子	1 位	赤 坂 清 一 守 屋 龍 一 山 口 翔 太 郎
15.12.14	第8回関西学生アーチェリーインドア選手権大会	1 位 2 位 1 位	赤 坂 清 之 谷 口 将 之 三 仲 佐 知 子
16. 5.14～ 5.15	第5回世界学生アーチェリー選手権大会選考会	1 位 3 位 2 位	天 野 良 太 中 村 仁 太 柴 尾 佳 な え
16. 5.23	第15回全日本学生アーチェリー西日本大会	1 位 2 位 3 位 1 位 2 位 3 位	守 屋 龍 一 古 川 高 晴 天 野 良 太 柴 尾 佳 な え 吉 丸 ま き 子 渡 部 千 里
16. 5.30	第24回関西学生アーチェリーテクニカルカップ	1 位 2 位 1 位 2 位 3 位	天 野 良 太 赤 坂 清 里 渡 部 千 里 柴 尾 佳 な え 合 澤 さ や 香
16. 7. 1	第41回全日本アーチェリー男子女子東西対抗戦兼第38回全日本OB第22回全日本OG学生アーチェリー対抗戦	1 位 2 位 3 位	守 屋 龍 一 古 川 高 晴 天 野 良 太
16. 7.20～ 7.24	第5回世界学生アーチェリー選手権大会 団体男子 団体女子	3 位 3 位	天 野 良 太 中 村 仁 太 柴 尾 佳 な え
16. 8.11～ 8.14	第44回関西学生アーチェリーターゲット選手権大会 団体男子	3 位 1 位 3 位 2 位	守 屋 龍 一 柴 尾 佳 な え 吉 丸 ま き 子 赤 坂 清 一 守 屋 龍 一 天 野 良 太
16.8～	アテネオリンピック 男子団体	8 位	古 川 高 晴

【体育会ゴルフ部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15. 9. 4～ 9. 5	関西学生女子秋季1部校学校対抗戦 団体戦	3 位	女 子 団 体
15. 9.28～10. 3	関西学生男子秋季1部校学校対抗戦 団体戦	3 位	男 子 団 体
15.11.17	関西学生女子会長杯 個人戦	2 位	西 島 有 布
15.12. 1～12. 5	関西学生男子マッチプレー選手権 個人戦	3 位	津 田 誠 司
15.12. 1～12. 5	関西学生女子マッチプレー選手権 個人戦	3 位	中 埜 有 美
16. 4.13～ 4.14	関西学生女子連盟杯 個人戦	2 位	辻 恵 美 子
16. 4.21～ 4.23	関西学生男子連盟杯 個人戦	2 位	土 佐 達 哉
16. 5.13～ 5.14	関西学生女子春季1部校学校対抗戦 団体戦	3 位	女 子 団 体
16. 5.17～ 5.18	関西学生男子春季1部校学校対抗戦 団体戦	2 位	男 子 団 体
16. 8. 5～ 8. 6	関西学生女子ゴルフ選手権競技 個人戦	3 位	辻 恵 美 子
16. 8.16～ 8.20	関西学生男子秋季1部校学校対抗戦 団体戦	3 位	男 子 団 体

【体育会バドミントン部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15. 9. 1～ 9. 7	西日本学生バドミントン選手権 団体戦 個人戦ダブルス	1 位	団 体
		3 位	大 滝 裕 紀 山 口 公 洋
15. 9.10～ 9.19	関西秋季リーグ戦 団体戦	1 位	団 体
16. 5. 1～ 5.24	関西春季リーグ 団体戦	1 位	団 体
16. 6.11～ 6.29	関西学生選手権 個人戦シングルス 個人戦ダブルス	1 位	山 口 公 洋
		2 位	鉦 佳 平
		3 位	銭 谷 公 浩
		1 位	山 口 公 洋
			鉦 佳 平
		2 位	大 滝 裕 紀 梅 林 慎 太 朗

【体育会卓球部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16.5.3・4・5～5.8・9	平成16年度関西学生春季リーグ戦 男子団体 女子団体	2 位	男 子 団 体
		1 位	女 子 団 体
16.5.29・30～6.6	平成16年度関西学生卓球選手権大会 男子ダブルス 女子ダブルス 女子シングルス	1 位	櫻 井 琢 真 岸 本 祥 一 郎
		2 位	森 浦 真 広
		3 位	西 田 誠 友 池 奥 友 里
			藤 谷 千 穂
		2 位	板 野 愛
		3 位	藤 谷 千 穂

【体育会レスリング部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16. 7. 1～ 7. 4	西日本学生レスリング選手権大会 フリースタイル 55kg級	1 位	長 尾 武 沙 士
	グレコローマンスタイル 55kg級	2 位	桂 大 樹
		3 位	増 田 徹 平
	74kg級	3 位	長 江 祐 介
	84kg級	3 位	青 木 良 三

【体育会ローラースケート部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15.10. 2～10. 6	第45回全日本学生選手権大会 300m女子	3 位	石 塚 あ ゆ み
	1,500m男子	3 位	滋 岡 源
	1,600mリレー男子	2 位	石 井 雄 輔
			三 木 正 喜
			山 田 圭 祐
			北 川 陽 一
	女子	3 位	石 塚 あ ゆ み
			山 本 麻 由 子
			上 仲 貴 子
			梶 田 倫 代
	スピード総合男子	3 位	男 子 団 体
	女子	2 位	女 子 団 体

【体育会ヨット部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16. 4.30～ 5. 2	関西学生ヨット春季選手権大会 470級	優勝	谷 ・ 加 藤 組
		2 位	疋 田 ・ 鍋 倉 組
	スナイプ級	優勝	堀 ・ 亀 口 組
16. 6.12～ 6.13	関西学生女子ヨット選手権大会 470級	2 位	谷 ・ 鍋 倉 組
	スナイプ級	優勝	疋 田 ・ 亀 口 組
16. 8.13～ 8.15	関西学生ヨット個人選手権大会 スナイプ級	優勝	堀 ・ 北之内 組
		3 位	疋 田 ・ 北 野 組

【体育会陸上競技部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15. 9.12～ 9.14	西日本学生陸上競技対校選手権大会 男子200m	2 位	青 海 知 伸
16. 5.20～ 5.23	関西学生陸上競技対校選手権大会 男子200m	3 位	青 海 知 伸
	共通4×400m R	2 位	北 田 雄 夫
			岸 田 博 樹
			上 北 恵 士
			片 岡 敏 哲

【吹奏楽部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15.10.18	第51回全日本吹奏楽コンクール全国大会 大学の部	銅賞	

【文化会英語研究会】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15.10.26	Discussion For Freshman 関西 Discussion	1 位 (キープに ていあすう)	黒 田 悠 和
16. 3.13～ 3.15	KESSAキャンプ西日本 Discussion	1 位 (関西)	石 田 絵 美
16. 4.17～ 4.18	NAFA全国大会教育リーグ Debate	2 位	小 栗 栄 行
16. 5.15～ 5.16	JNDT全国大会本戦 Debate	ベスト8	澤 田 知 佳 小 栗 栄 行

【文化会釣部釣友会】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16. 6.20	全日本学生釣魚連盟関西支部主催春季投げ釣り大会 個人	1 位	高 井 聡 志

【文化会グリークラブ】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
15.10.13	第58回関西合唱コンクール 大学部門Aグループ	銅賞	



厚生委員会情報

天然温泉のあるフィットネ

スクラブ「タツク桃山」

昭五十・法・経営法学科卒

天本雄二

最新の設備を備えたフィットネスクラブが天王寺区筆ヶ崎町に平成十六年十一月三日（祝）にオープンします。オープンに先立ち、近畿大学校友会の皆様には特別待遇の提携会員としてご

案内申し上げます。

各線本土町駅、鶴橋駅より徒歩圏内にあり、地下九三〇メートルから湧き出た天然温泉が自慢です。広いプールにスタジオ、マシンジム、さらにはイスラエルの死海から直輸入したミネラル分豊富で浮力の強いデッドシーブルーを備え、肉体的にはもちろん、精神的にも大変リラックスして頂けます。

レギュラー	パートナ	会員種別
10,500	11,550	正規会費
9,450	10,500	期間限定会費

校友会長賞

著しい活躍の
新卒の人々へ

校友会では平成十五年度卒業式に当たり今春、課外活動及び校友会活動などに貢献してきた本学学生を対象として「校友会長賞」を授与いたしました。表彰された方々は、次のとおりです。

〔敬称略〕

折尾信幸、打田圭祐、松下紗耶未
(以上法学部)、谷川広美、上林義之
(以上商経学部)、渡邊靖文、川田慶
岩本由美子、杉井雄資(以上理工
学部)、鶴岡智世、篠原正樹(以上
薬学部)、中北絃子、中尾佳正(以
上文芸学部)、楊佳桓、藤井量久
(以上大学院)、中谷仁、坂東賢
一、藏之上暁(以上短期大学部)、
中野慎一郎、山本公仁(以上通信教
育部)、遠藤圭悟、村田晴太郎、齋
藤史絵(以上農学部)、松尾明尚、
青海和士、宮崎博規(以上生物理工
学部)、山本喜造(工学部)

校友を訪ねて

村上功氏

本校校友で電友会の常任幹事を務めている村上功（むらかみ・いさお）氏は、平成十六年度文部科学大臣賞の栄誉に輝いた。永年の研究成果である「研削盤用ギャップエリミネータの開発」が評価されたもので、第二十四回発「科学技術振興功績者」として四月十五日、東京で表彰状を受けた。

村上氏は、昭和四十二年三月、理工学部電気工学科卒業。

現在、「株式会社村上技研産業」の代表取締役。所在地は、大阪府和泉市池上町五二九。同社は、センサ・関連の技術開発を中心に、積極的な事業展開を続けている企業で、これまで開発

土日祝 午前十時～午後六時

■お申し込みに必要なもの

・近畿大学校友会報をご持参ください

- ・月会費の二ヶ月分
- ・銀行通帳
- ・届出印

■お問い合わせ先 タック桃山開設準備室

0110—16—0454

平成十六年十二月三日オープンの施設

◆所在地 大阪市天王寺区筆ヶ崎町二番三三号

◆ ホームページアドレス

<http://www.tac-momoyama.com>

実績により、東久邇宮記念褒賞、大阪府発明実施功労者表彰などを受賞している。

先進の技術、先駆の開発思想を第一義とし、昭和四十八年四月、オートメ機器開発社を創業し、確実に信頼性の



文部科学大臣賞を手にする村上氏

高い装置を社会に送り出してきた。昭和五十四年五月、株式会社村上技研産業と改名した。「大手にはそう簡単には真似のできない技術開発」「どこにもないものを、常に作りつづけることの喜び」という経営方針は、一貫して不変である。

一方、産官学連携にも理解があり、本学研究者とも共同研究を継続し、実績をあげている。

新しい技術へ挑戦 村上 功氏の話

私は、母校近畿大学を卒業して、早や三十七年が過ぎ去りました。本学では電気・電子を学び、今日までに特許を多数取得できました。その中でも特に世の中に、多数の実績がある優れた特許との評価をいただき、受賞に至りました。

その内容を、紹介させていただきます。

近畿大学校友会本部参与
近畿大学梅友会本部相談役
近畿大学大阪梅友顧問

石原 国 夫

〒559-0001
大阪市住吉区粉浜一十五ー二十
TEL・FAX (〇六六六七) 二一八四〇五

有志の名刺一覧

工作機械における研削盤用ギャップエリミネータの開発でした。研削盤の回転する砥石が、被研削物に接近すると、その隙間に微小・高密度な超音波層が発生することに着目し、研削盤の機械的な振動等のノイズに対して、比較的レベルの小さいこの超音波信号を抽出するため、共鳴構造で高感度で電気信号の変換を可能にする圧電素子を内蔵したAEセンサで捕捉して電気信号に変換し、この信号直結にした増幅

器を介して増幅し、周波数選択性と高いパルス応答性を有するギャップエリミネータで検出して、研削盤の稼働効率を高め、加工能率の向上を実現した。本開発によるセンサと電子機器の研削盤への応用は、ベアリング、シャフト、金型、ねじ等の研削盤品の高精度化、コストダウン化を実現して、更には産業技術、精密機械、AV機器等のコストダウンにもなり、全国的に普及し、製造技術の発展に寄与している、

との評価でした。

私は、ありがたく素直な気持ちで喜んでいますが。今後は更に新しい技術に挑戦していくつもりです。

最近では産官学の連携にグローバルな時代です。なにかと世の中のために貢献していきたいと思っています。

最後になりましたが、ますますの母校の発展と校友の皆さんのご繁栄とご健勝でありますことを御祈念致します。結びにしたいと思います。

株式会社 朝日工業社

取締役社長

高 須 康 有

真珠産地直行便

石原真珠普及会

石原 宗次郎

(昭三十八年商経通卒)

〒517-0703
三重県志摩市志摩町和具一〇一七
TEL・FAX (〇五九九) 八五一〇二三四

株式会社 いこの森

近畿大学校友会相談役

会 長 野口 末 和 (近32一商)

社 長 中出 貞 男 (近34業)

〒558-0011
大阪市住吉区南田五一十五ー十二
TEL (〇六六六九六一) 〇九九九

榎運送株式会社

小ロットから大型輸送までのご提案いたします

代表取締役

下 村 捷 彦

〒599-8247
大阪府堺市東山六〇三ー一
TEL (〇七三三三九一) 〇〇六二
FAX (〇七三三三九一) 〇〇八二

下 村 正 美 (平成5年卒)
下 村 晃 彦 (平成9年卒)

大谷税理士事務所

税理士
大谷 久仁雄〒530-0001 大阪市北区梅田三丁目一十四
大弘ビル二〇五号
TEL 〇六六四五六―三二七八
FAX 〇六六四五六―三二七九

近畿大学校友会

香芝支部

香芝市市議会議員

中川 廣美

〒639-0244 議会事務局
奈良県香芝市本町三九七
TEL 〇七四五七六―二〇〇一
FAX 〇七四五七七―八二二一近畿大学校友会顧問
近畿大学校友会香芝支部長

西川 泰弘

〒639-0243 奈良県香芝市藤山一丁目一二十六
TEL 〇七四五七六―七〇三二
〒720-0834 広島県福山市明王台四一四十一G十一六
TEL 〇八四九五―一七〇七香芝市市議会議員
民生水道委員

細井 宏純

〒639-0244 議会事務局
奈良県香芝市本町三九七
TEL 〇七四五七六―二〇〇一
FAX 〇七四五七七―八二二一造園 土木 設計・施工
株式会社 共同園芸代表取締役
若生 恭廣
(S48年農学科卒)本社 神戸市東灘区本山南町六丁目五番一十号
TEL 〇七八四三―一七五三五
FAX 〇七八四三―一七五三七
〒658-0015
宝塚支店 宝塚市山本中二丁目十五―一三
TEL 〇七九七七八―一〇二四〇
FAX 〇七九七八九―四六八二
〒665-0883
大阪支店 大阪市北区中津二丁目十一番十一四〇五号
TEL 〇六六三三―一六〇〇〇
FAX 〇六六三三―一六〇〇〇
〒531-0071

桐井鉄工株式会社

近畿大学校友会相談役

代表取締役
桐井 宗治〒543-0013 大阪市天王寺区玉造本町十一丁目一四
TEL 〇六六七六―一三三〇一
FAX 〇六六七六―一〇九六九
E-mail: bcd02402@nifty.com

近大土木 33 会

近畿大学校友会神戸支部

支部長 春 本 佳 和
副支部長 山 崎 博 司
副支部長 時 田 全 規
幹事長 三 村 知 己

近畿大学校友会相談役 近畿大学薬友会顧問 問 中 出 貞 男 京橋薬局 TEL (06) 6967-1230 FAX (06) 6967-4981 SUNパード薬局 TEL (06) 6966-0999 FAX (06) 6966-0991	株式会社総合緑化 専務取締役 山 口 英 雄 (S38年農学科卒) 〒541-0048 本店 大阪府中央区其町四丁目三番十四号一八〇 TEL (06) 4706-7805 FAX (06) 4706-7806 〒576-0016 交野支店 大阪府交野市星田四丁目二十四番十九号 TEL (07) 2894-1255 FAX (07) 2894-1256 E-mail: sougou-ryaku@actnet.jp	生涯学習二級インストラクター(社会保険労務士) 経営労務コンサルタント(JMEC) 国際研修コンサルタント(IMM JAPANインドネシア担当) 斎藤経営労務事務所 所 長 斎 藤 齊 〒562-0013 大阪府箕面市坊島一丁目八番四号 TEL・FAX (07) 721-1470
近畿大学校友会常任幹事 近畿大学梅友会副会長 中 易 義 暢 〒536-0003 大阪府城東区今福南四丁目十四番一四〇六 TEL・FAX (06) 6933-1608	経営支援クリニック・センター (田中会計事務所) 税理士 田 中 成 人 田 中 祥 宏 〒541-0055 センター事務所 大阪府中央区船場中央一丁目四番四二二 〒542-0081 プラザ事務所 大阪府中央区南船場一丁目十一番一 TEL (06) 6611-4806 代	俳句雑誌 水 鳥 社 大阪支部支部長 大 岩 千 翁 〒569-1044 高槻市上土室四丁目五番二四〇二 TEL・FAX (07) 2695-7266
近畿大学校友会常任幹事 近畿大学梅友会副会長 永 原 静 男 三重県久居市持用町二二二五-一四 TEL (059) 255-7119	広島県公安委員会指定 広島労働局長登録教習機関 株式会社テクノ自動車学校 代表取締役 竹 内 正 彦 (工学部機械工学科S38年卒) 〒731-4213 学 校 広島県安芸郡熊野町五六四〇-一 TEL (082) 854-1400 代 FAX (082) 854-1946 代	株式会社セレ・ナス 代表取締役会長 福 井 昌 勝 (近43法学部卒)

造園・設計・施工・管理 ムサシ造園土木株式会社 取締役 田中 康臣 (H7年応用化学科卒) 〒558-0011 本社 大阪市住吉区新田五丁目十八番三十二 TEL・FAX 〇六六六九一七二七四 〒584-0011 富田林支店 大阪府富田林市宮町二丁目八番九 TEL 〇七二二五〇一〇九二 FAX 〇七二二五〇一〇八六〇	(社)兵庫県宅地建物取引業協会会員 不動産コンサルティング技能者登録(3)1474号 兵庫県知事免許⑬162号 町田商会 代表者 町田 隆雄 〒653-0042 神戸市長田区「葉町四丁目」番十四号 (JR新長田駅南五〇〇m) (市営地下鉄海岸線駒ヶ林駅徒歩一分) TEL 〇七八六一一四四四四 FAX 〇七八六一一〇五三三 E-mail machidat@osk33web.ne.jp	株式会社 日経サービス 近畿大学校友会副会長 代表取締役会長 近藤 勲 本社 大阪府中央区南船場二丁目十七番十号 TEL 〇六六二六八一六七八八 FAX 〇六六二六八一〇三八八
若松産業株式会社 代表取締役社長 若松 潔 【営業品目】 ■超粘着固定シート・JQA認定商品 ■耐震・防振・防音・防湿 ■ラット削減関連器具 ■日用雑貨 ■アイデアギフト商品(記念品・販促グッズ) 〒536-0014 大阪府城東区鶴野西一丁目十四番四 TEL 〇六六六九六七一三六六六 FAX 〇六六六九六七一一三六六七	近畿大学校友会東大阪支部 支部長 盛山 博男 幹事長 宮崎 利一 〒577-0017 東大阪市藤戸新田一丁目二番九 TEL 〇六六七八二二二二六 事務担当 牧野吉昭 迄	株式会社 野口造園 代表取締役 野口 恵一郎 〒581-0865 大阪府八尾市服部川六十四番地 TEL 〇七二九四一八二二二 FAX 〇七二九四一五六二五
近畿大學應援団OB会渉外委員会副委員長 近畿大学校友会幹事 近畿大学校友会堺支部副幹事長 株式会社 ワールド・アミー 取締役管理部長 猪尾 浩 (平成2年商経学部卒) 大阪府吹田市広芝町十八番三十四号 TEL 〇六六一九三一一九九〇 FAX 〇六六一九三一一九九二 http://www.wamie.ne.jp	三重シニア・ピア・カウンセリング研究所 日本笑い学会会員 ヘルパー二級 川島 菊雄 法学部(通信) 〒510-0106 三重県三重郡桶町本郷二四七五二 TEL 〇五九二九七一五七四五	校友会参与 廣瀬 喜久

個人情報について

校友会からのお願い

近年IT関連の発達により、情報の利用が容易になる一方で、個人情報に関する事件が多くなり、個人情報の保護がより一層要請される時代となって来ましたので、校友会として、全卒業生に対して個人情報の開示についておungkaiすることになりましたのでよろしくお願い申し上げます。

校友(卒業生)は校友会員番号が付番されてデータベースに登録されデータの構築をしています。データベース化の目的としては、卒業後から終身に亘るまでに各種の連絡、校友会行事、大学行事などのご案内また、校友間の交流・親睦を図るために活用しております。

(名簿の発行・配架)

校友(卒業生)名簿は校友会員番号が付番されて「氏名、学部(研究科・学科・専攻)、就職先、卒業後連絡先」が掲載されています。図書館、就職部、校友会事務局(校友課)、学部同窓会事務局に配架しており、校友・在学生・教職員が閲覧可能となっています。

・校友会名簿(全卒業生を掲載)

平成3年まで近畿大学校友会発行

・卒業生名簿(単年度の卒業生のみを掲載)

平成4年以降に近畿大学総務部校友課発行

(支部・同窓会への提供)

前述の名簿としての掲載の他に、校友会として公認している地域支部並びに職域支部、学校・学部毎の同窓会に対して、地域在住の校友情報を提供する場合があります。支部・同窓会活動の為に必要と認めた場合に限り情報を提供しています。

①個人情報の保護について

校友会では、個人情報の開示について校友の皆さまの意思を尊重して行きたいと考えています。つきましては《個人情報について》をご覧の上で、ご自身の情報開示についてのご希望を校友会事務局まで、お知らせください。

お知らせいただく方法としては、届出用紙をお使いいただいてファクシミリ送信いただくか、ハガキをポストへ投函ください。(届出用紙・ハガキは、各校友のご自宅へ郵送にてお届けします)

なお、ご希望の開示内容に関係なく、各名簿ともに「電話番号」は掲載いたしません。

②情報変更の届出について

校友会では事務局において、校友の皆さまの大切な情報の整備に努めています。

転居・転職・改姓など、皆さまの個人情報に変更があった際には、お手数ですが校友会事務局までお知らせください。

お知らせいただく方法としては、届出用紙をお使いいただいてファクシミリ送信いただくか、ハガキをポストへ投函ください。(届出用紙・ハガキは、各校友のご自宅へ郵送にてお届けします)

③届出・問い合わせ先

本件についての届出・お問い合わせは下記の校友会事務局までお願いします。

なお、届出については郵便またはFAXにてお送りください。

〒577-8502

大阪府東大阪市小若江3-4-1

近畿大学校友会 事務局

T E L 06-6723-2314

F A X 06-6724-7430

E-mail kindaikk@star.odn.ne.jp